令和９年度

学 生 募 集 要 項

一般選抜（前期日程）
一般選抜（後期日程）

☑ 志願者本人がこの学生募集要項の内容についてよく理解すること。
☑ この学生募集要項は「受験についての諸注意」を含んでいるので，試験当日に必ず携行すること（媒体は問わない）。
☑ この学生募集要項は入学手続が完了するまで保管すること。

東京学芸大学
Tokyo Gakugei University
令和８（2026）年 11 月

本学への出願を検討している皆様へ

「こども性暴力防止法」が
令和８年（2026年）12月25日にスタートします。
～実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

令和８年（2026年）12月25日に「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が施行されます。この法律は児童対象性暴力等の防止等のため，こどもに対して教育・保育などを行う学校（幼稚園を含む）や保育所などに性暴力を防ぐための取組を求めるものです。制度の詳細は以下のwebページをご覧ください。
（制度全般に関するご質問はこども家庭庁にお問い合わせください。）

こども家庭庁「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」
https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

本学では非常に多くの学生が学校（幼稚園を含む）や保育所などで実習等を行うことから，同法の施行により学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組や実習生に関する留意点等について十分にご理解いただいたうえで，本学に出願してください。

【学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組】
日頃から，こどもを性暴力から守る環境づくりを進めます。
こどもと接する業務に就く人（実習生も含まれる）に，性犯罪前科の有無を確認します。
性暴力のおそれがある場合は，こどもと接する業務に就かせないようにします。

【実習生に関する留意点】
実習等の計画において，こどもと一対一になることが予定されている，期間が相当長期にわたるなど，実習生がこどもに対して支配性，継続性及び閉鎖性を有する実習等であると判断された場合，性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお，性犯罪前科の有無の確認が必要かについての最終的な判断は，実習等を実施する学校（幼稚園を含む）や保育所などが行います。
性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合，実習生本人よりこども家庭庁が開設するシステムに本人確認情報（戸籍など）の登録が必要となり，性犯罪前科があると確認された者は，こどもと接する実習等を行うことはできなくなります。
実習等を行うことができない場合，教育職員免許状（いわゆる教員免許）のほか，当該実習等を行うことが必要となる資格等の取得ができなくなることに加え，卒業要件を満たすことができず，卒業ができない可能性があります。
これらのことから，こども家庭庁及び文部科学省からの依頼に基づき，入学手続時に同法に基づく実習生に関する留意点への同意書，性犯罪前科がない旨の誓約書を提出していただきます。
（性犯罪前科がない旨の誓約書は実習前にも提出していただきます。）

目　次

Ⅰ．はじめに …… 3

1．学生募集要項について …… 3
2．受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談 …… 3
3．出願手続について …… 4
4．入試等にかかる日程 …… 4
5．試験場 …… 4
6．出願書類作成における生成 AI の利用について …… 5
7．ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて …… 5

Ⅱ．東京学芸大学教育学部　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） …… 6

Ⅲ．教育学部における課程，専攻（類），コース・プログラムの募集人員等 …… 9

1．入学定員及び募集人員 …… 9
2．類・コース別の特別事項 …… 10

Ⅳ．出願資格等 …… 11

1．出願資格 …… 11
2．出願にあたっての留意事項 …… 12

Ⅴ．出願手続期間及び出願手続方法（両日程共通） …… 13

1．出願手続期間 …… 13
2．出願手続方法 …… 13
3．出願にあたっての注意事項 …… 18
4．受験票の交付（配信） …… 18

Ⅵ．入学者選抜 …… 19

1．選抜方法 …… 19
2．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項） …… 19
3．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表 …… 21
4．東京学芸大学入学試験の試験期日 …… 23
5．東京学芸大学入学試験の日程，出題教科・科目等 …… 23
6．教科・科目に係る個別テスト等の詳細 …… 25
7．小論文の概要 …… 26
8．実技試験等の内容 …… 27
9．出願書類の点数化 …… 32
10．面接の形式 …… 32
11．配点一覧表 …… 33

Ⅶ．受験についての諸注意（両日程共通） …… 35

1．一般的な注意事項 …… 35
2．その他の諸注意 …… 35
3．不正行為について …… 36

Ⅷ．試験実施後について（両日程共通） …… 37

1．合格者の発表 …… 37
2．入学手続 …… 37
3．追加合格 …… 38
4．欠員補充第２次募集 …… 38

Ⅸ．入学試験情報の開示等 …… 39
１．基準点 …… 39
２．入学試験の成績及び調査書の開示 …… 39
３．東京学芸大学入学試験の過去問題及び正解・解答例 …… 39
４．「入試過去問題活用宣言」への参加について …… 39

Ⅹ．学生生活等 …… 40
１．ノート型パソコン必携のお願い …… 40
２．入学料及び授業料免除制度 …… 40
３．奨学金制度 …… 40
４．海外留学 …… 42
５．福利厚生 …… 42
６．保健管理センター及び学生相談室 …… 43
７．学生寮 …… 43
８．課外活動 …… 43
９．教育実習及び介護等体験 …… 44
10．キャリア支援・就職 …… 44
11．東京学芸大学の所在地及びアクセス …… 44

Ⅺ．出願書類（所定様式）の見本 …… 46
１．入学志願票（兼 出願内容確認票） …… 46
２．出願書類郵送用ラベル …… 47

Ⅰ．はじめに

１．学生募集要項について

(1)　この学生募集要項は「一般選抜」（前期日程・後期日程）（令和９年４月入学）の詳細を記したものです。

(2)　この学生募集要項では，本学が実施する「教科・科目に係る個別テスト」，「小論文」，「面接」，「実技検査」等を総称して「東京学芸大学入学試験」と表記しています。

(3)　この学生募集要項では，「教科・科目に係る個別テスト」を「個別テスト」と略して表記している箇所があります。

(4)　この学生募集要項では，教育学部の各課程における「専攻」を「類」で表記している場合があります。

課程	専攻	類
学校教育教員養成課程	初等教育専攻	Ａ類
	中等教育専攻	Ｂ類
	特別支援教育専攻	Ｃ類
	養護教育専攻	Ｄ類
教育支援課程	教育支援専攻	Ｅ類

２．受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談

(1)　障がいがある等の理由で，受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は，事前相談締切日までに「事前相談申出書」を提出し，あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。また，相談内容によっては対応に時間を要することがあります。締切日以降の相談についても引き続き配慮検討の対象となりますが，事前準備の都合上，相談の時期が遅くなるほど実際に提供できる受験上の配慮が限定される場合がありますので，余裕をもって相談してください。

なお，複数の選抜・日程に出願する場合は，そのすべてに対して相談を行ってください。

(2)　障がい等のある志願者が，選抜の際に不利に扱われることはありません。

(3)「事前相談申出書」（様式任意）には次の内容を記載し，診断書等の関係書類を添付してください。

① 志願する選抜区分及び日程，志願先（類，コース・プログラム）
② 障がい等の種類・程度
③ 受験上及び修学上の配慮を希望する事項
④ 高等学校（中等教育学校等を含む）でとられていた特別措置
⑤ 日常生活の状況
⑥ その他参考となる事項
⑦ 申請者の連絡先（住所，電話番号，メールアドレス等）※申請内容について把握している者

この申出書に加えて，「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書」のコピーを添付してください。

(4)　お問い合わせ先，申請書類提出先（郵送）は「東京学芸大学 入試課学部入試係」です。

(5)　相談締切日は，「**４．入試等にかかる日程**」を参照してください。また，相談に対しての回答は各選抜の出願手続期間開始までに郵送により行います。

３．出願手続について

本学ではインターネット出願を導入しています。これについて，下記のことに留意してください。

(1)　**本学での出願手続は，「インターネット出願登録・検定料の支払い」及び「出願書類の郵送」の２段階により行います。出願手続期間・時間内にこの２段階の両方を完了しない場合は「出願」をしたことにはなりません。**出願資格や志願先等によっては書類の準備に時間を要する場合がありますので，出願手続期間・時間内にスムーズに出願手続を行えるよう，余裕をもって準備してください。

(2)　**学生募集要項（出願書類の所定様式を含む）及びインターネット出願サイトのリンクは「学部入試情報サイト」に掲載しますので，必ず当ウェブサイト内からアクセスしてください。**本学が管理していない外部サイトに掲載されたリンク等からアクセスしたことにより志願者等が不利益（正確な情報が得られない，個人情報を詐取される等）を被っても，本学では責任を負いません。

なお，過去にアクセスしたことがあるウェブサイトに再度アクセスした場合はブラウザキャッシュにより最新の情報が表示されないことがありますので，アクセス毎にページの更新（再読み込み）や，キャッシュクリアを行ってください。

４．入試等にかかる日程

事項＼日程		前期日程	後期日程
受験上の配慮相談締切日		令和８年 12 月 18 日（金）	
大学入学共通テストの実施日		令和９年１月 16 日（土）・17 日（日）	
出願手続期間 ※右記(1)・(2)ともに必須		(1) 出願登録期間（インターネット出願登録・検定料支払い） １月 22 日（金）10 時 00 分～２月３日（水）９時 00 分	
		(2) 出願期間（出願書類の郵送提出） １月 25 日（月）～２月３日（水）期間内必着	
受験票の交付（配信）		２月 12 日（金）までに配信	
東京学芸大学入学試験の試験期日		２月 25 日（木）・26 日（金）	３月 12 日（金）
合格者発表		３月６日（土）10 時 00 分	３月 20 日（土）14 時 00 分
入学手続期日	郵送	３月 14 日（日）必着	３月 26 日（金）必着
	持参	３月 15 日（月）９時 00 分～12 時 00 分	３月 27 日（土）９時 00 分～12 時 00 分
追加合格連絡・入学手続		３月 28 日（日）以降 ※追加合格者の入学手続日は３月 30 日（火）を予定	

（注意）出願手続期間及び合格者発表～入学手続期日の間（前期・後期両方）に含まれる土曜日・日曜日・国民の祝日については本学入試課の電話等による質問対応を行いませんので，十分注意してください。

５．試験場

東京学芸大学小金井キャンパス（東京都小金井市貫井北町４－１－１）

（注１）アクセスの詳細は「**X．学生生活等**」の「11．**東京学芸大学の所在地及びアクセス**」を参照してください。
（注２）上記以外の試験場（附属学校等のキャンパス及び学外試験場）は設けていません。

学生募集要項及びインターネット出願サイトのＵＲＬ等については，すべて「**学部入試情報サイト**」に掲載します。
《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html》

６．出願書類作成における生成 AI の利用について

本学では以下のとおり注意喚起を行っておりますので，出願書類作成に当たっては，本文の主旨を踏まえて生成 AI を利用しないようお願いします。

受験生の皆さんへ

「入学希望理由書（総合型選抜）」「志願理由及び活動報告書（総合型選抜を除く全選抜）」やその他出願書類を作成する際，「ChatGPT」などの生成 AI を利用しないでください。

本学では，皆さんのそれぞれの思いや考え方に基づいた文章を記載していただきたいと考えています。生成 AI は便利なツールではありますが，自分の言葉で考えを表現することが大切です。生成 AI を利用せず，自分自身の言葉で志望理由や目標を記載してください。

７．ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて

(1)　本学では公式ウェブサイト等で随時情報提供を行っています。公式ウェブサイトのほか，入学試験に関する情報については主に「学部入試情報サイト」に掲載しています。通常の情報提供に加え，**学生募集要項の内容に変更が生じた場合や，その他周知すべきことが生じた場合には「学部入試情報サイト」でお知らせしますので，随時確認してください**。

なお，災害等により公式ウェブサイト及び「学部入試情報サイト」の更新や閲覧ができなくなった場合，「臨時公式ウェブサイト」や「X（旧 Twitter)」にて情報提供を行う場合があります。また，このような状況となった場合，「学部入試情報サイト」に掲載している学生募集要項の閲覧に支障が生じる場合がありますので，ＰＣ，スマートフォン等へのダウンロード又は印刷をしておくことを推奨します。

☞ 公式ウェブサイト　➔ https://www.u-gakugei.ac.jp/

☞ 学部入試情報サイト　➔ https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html

☞ 公式 X（旧 Twitter）　➔ https://x.com/TokyoGakugei

☞ 臨時公式ウェブサイト　➔ https://sites.google.com/site/gakugeiweb/

(2)　東京学芸大学入学試験についての問い合わせ，各種申請書等の郵送先はすべて下記のとおりです。

国立大学法人東京学芸大学 学務部入試課学部入試係
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町４丁目１番１号
電話：042-329-7204

（注１）入試課では「入学試験に関する内容」以外の問い合わせ等には応じかねます。

（注２）入学試験についての問い合わせは「受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談」を除き，原則として志願者本人が行ってください。

（注３）電話による問い合わせの受付時間は休日（土曜日・日曜日・国民の祝日）及び大学が定める休業日を除く日の９時から 12 時及び 13 時から 17 時です。問い合わせへの回答には時間を要する場合があるので，時間的・期間的余裕をもって問い合わせてください。なお，入学試験や各種手続等が休日に行われる場合は，当該業務及びそれに関連する問い合わせ対応のみを行います。

（注４）インターネット出願サイトの操作及び検定料のお支払いに関わる質問は，『株式会社キャリタス「学び・教育」出願・申込サービス　サポートセンター』（電話：0120-202079）に直接お問い合わせください。また，出願サイトからチャットボットを利用することも可能です。

Ⅱ．東京学芸大学教育学部　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育学部共通】

東京学芸大学は，豊かな教養と広い視野をもち，教育の諸課題や人間の発達についての深い理解と，専門的な学識・技能をもって，社会のさまざまな分野で教育的，協働的な実践を進めることができ，未来を切り拓くことができる「有為の教育者」を志す人を求めています。

このため，本学では学生が次のような目標をもって，大学の講義や演習，実習（教育実習等），実験や自主ゼミナールに意欲的に取り組み，更にサークル活動，インターンシップ，ボランティア活動，海外や実社会での各種の体験活動等を通して，有意義で密度の濃い大学生活を送ることを期待します。

１．深い教養と豊かな知識を身に付け，知的な創造力や探究心を磨き，教科等の専門的な学びを深めること
２．子どもに対する愛情と教える喜びを育むこと
３．社会の変化や多様な教育課題に関心を持ち，学校や社会をより良く変革する力を育むこと
４．柔軟な感性と豊かなコミュニケーション能力，他者と協働する力や困難な諸課題にしなやかに対応する力を育むこと
５．共生社会の実現に貢献し，国際的視野を身に付けること

本学は「有為の教育者」として直接に人間とかかわる人材を養成することから，入学者に対しては，特に，教師や教育支援人材への志望意欲を有していることを求めています。その上で，以下に述べるような各課程・専攻の教育内容に関わる学修を高等学校段階までに達成しているのみならず，多様な人々との豊富な相互交流の経験を有していることを期待しています。

本学は，一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程），学校推薦型選抜，総合型選抜等の方法で入学者の選抜を行います。

一般選抜（前期日程）では，大学入学共通テストを利用し，教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに，教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を学科試験や実技試験，面接や小論文により評価します。

また，一般選抜（後期日程）では，前期日程同様大学入学共通テストを利用し，教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに，教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を面接や小論文，実技試験により評価します。

学校推薦型選抜では，各課程・専攻・コースにおいて面接や小論文，実技試験を行い，教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに，各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を有するかを評価します。

総合型選抜では，出願書類と各課程・専攻・コースにおいて行う小論文，適性検査，面接により，学校の内外を問わず取り組んできた様々な活動により培った資質・能力や，教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに，各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を有するかを総合的に評価します。

各選抜区分において重視し評価する項目については下表のとおりです。
（下表に○が付されていない場合であっても，各項目に対する一定の評価は行います。）

選抜区分等		出題教科・科目等	教育者になる強い意欲	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
一　般　選　抜		出願書類（※1）	○	○	○	○
		大学入学共通テスト		○	○	
		教科・科目に係る個別テスト		○	○	
		小論文（※2）	○	○	○	○
		面接（※2）	○	○	○	○
		実技試験（※3）		○	○	
学校推薦型選抜		出願書類（※4）	○	○	○	○
		小論文	○	○	○	○
		面接	○	○	○	○
		実技試験（※3）		○	○	
総合型選抜（※5）	第一次選考	入学希望理由書	○		○	
		活動報告書			○	○
		学修計画書	○			○
	第二次選考	小論文（※6）	○	○	○	○
		適性検査（※6）		○	○	○
		面接	○	○	○	○

（※1）出願書類一式は参考資料とする。ただし，Ｅ類生涯スポーツコースでは専用の様式に基づいた点数化も併せて行う。
（※2）各コース・プログラムで，いずれか又は両方を実施する。
（※3）一部コースで実施する。
（※4）出願書類一式を面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。ただし，A類保健体育コースでは専用の様式に基づいた点数化も併せて行う。
（※5）選考過程の全体で「学校の内外を問わず取り組んできた様々な活動により培った資質・能力」も評価する。また，出願時に提出する「調査書」は面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。
（※6）一部コース・プログラムでは，小論文又は適性検査のいずれかを実施する。

この他，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜，国際バカロレア選抜など，多様な選抜方法によって，多様な人材を受け入れることを目指しています。

【学校教育教員養成課程】

〈初等教育専攻（Ａ類)〉

本専攻は，小学校の全教科等に関する幅広い知識・技能・指導力とともに，特定の教科や横断的領域に関する専門性をも兼ね備えた小学校の教師，または幼児教育の専門的知識・技能・指導力を備えた幼稚園の教師の養成を目的としています。

なお，日本の小学校においては，教科担任制が一部で導入されているものの，基本的に全科担任となっており，また，幼稚園においては，領域を総合的に指導する担任制となっていることから，本専攻の入学者に対しては，どのコース（プログラム）においても，小学校・幼稚園で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校段階まで幅広く学修し，教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈中等教育専攻（Ｂ類)〉

本専攻は，中学校・高等学校の教科等に関する高度な専門性と，優れた実践力を兼ね備えた教師を養成することを目的としています。

なお，日本の中学校・高等学校においては，基本的に教科ごとの担任制となっていることから，本専攻の入学者に対しては，それぞれのコースにおいて養成する教師の担当教科等に関連する諸科目を高等学校段階まで学修し，教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈特別支援教育専攻（Ｃ類)〉

本専攻は，特別支援教育全般とともに，聴覚障害，言語障害，知的発達障害，学習障害に関する高い専門性と優れた実践力を兼ね備えた教育者の養成を目的としています。

なお，日本の特別支援学校においては，幼稚園，小学校，中学校，高等学校に準ずる教育を施すことから，本専攻の入学者に対しては，それぞれの学校で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校まで学修し，教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈養護教育専攻（Ｄ類)〉

本専攻は，子どもの多様で複雑な健康課題に対応し，発達段階を踏まえて心とからだの両面から子どもの健康支援ができる養護教諭の養成を目的としています。

養護教諭になるには，児童生徒，教職員の実態に即した健康相談や健康教育，保健指導等が実践できる専門的知識と技術を，大学４年間で身に付ける必要があります。そこで本専攻では，人間の健康や病気を理解する基礎力として，大学入学までに，特に「生物」と「保健」をしっかり学修して，入学されることを期待しています。

【教育支援課程】

〈教育支援専攻（Ｅ類)〉

教育をめぐる現在の日本の社会状況は非常に複雑なものとなっています。そのため，学校・家庭・地域が連携しつつ，教育の営みを幅広く支援していく必要があります。

本専攻では，教育の基礎知識や教育に関する諸課題についての知識，教育支援の専門知識，ならびに協働力・ネットワーク力・マネジメント力を習得することを通じて，学校現場と協働して，様々な現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え，自ら考え行動できる教育支援人材を養成します。

そこで本専攻では，このような教育理念に共鳴するとともに，様々な教育現場をフィールドにして高度な実践力を身に付け，将来，学校・地域・教育行政・教育関連企業・教育関連ＮＰＯ等の場で教育支援人材として活躍することに，強い意志と意欲を持って学ぼうとする人を求めています。

なお，本専攻の入学者に対しては，高等学校段階までの各教科などの基礎的な学力をもとに，教育・人間・社会・文化・スポーツ・情報などに関する問題や課題に広く関心を寄せ，それらに取り組む意欲や態度を有していることを期待しています。

Ⅲ．教育学部における課程，専攻（類），コース・プログラムの募集人員等

１．入学定員及び募集人員

課程	専攻（類）	コース・プログラム		入学定員	募集人員（注１～４）								特別事項（注５）
					一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	帰国生選抜	私費外国人留学生選抜	国際バカロレア選抜	高大接続プログラム特別入試	
					前期日程	後期日程							
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（A類）	国語コース		80	50	10	20	—	△	△	△	△	⑦
		社会コース		70	50	20	—	—	△	△	△	△	③
		数学コース		65	50	15	—	—	△	△	△	△	④
		理科コース		85	60	10	15	—	△	△	△	△	⑤
		音楽コース		25	13	4	—	8	△	△	—	△	
		美術コース		25	15	—	7	3	△	△	△	△	
		保健体育コース		40	30	—	10	—	△	△	△	△	
		家庭コース		15	12	—	3	—	△	△	△	△	①
		英語コース		15	8	—	7	—	△	△	△	△	
		現代教育実践コース	学校教育プログラム	20	15	5	—	—	△	△	△	△	
			学校心理プログラム	20	15	—	5	—	△	△	△	△	
			国際教育プログラム	15	12	—	3	—	△	△	△	△	
			環境教育プログラム	20	17	—	—	3	△	△	—	△	
		ものづくり技術コース		10	7	—	2	1	△	△	△	△	②
		幼児教育コース		20	16	—	4	—	△	△	—	△	
		（小計）		525	370	64	76	15					
	中等教育専攻（B類）	国語コース		20	15	—	5	—	△	△	△	△	
		社会コース		25	20	5	—	—	△	△	△	△	③
		数学コース		25	20	5	—	—	△	△	△	△	④
		理科コース		45	35	5	5	—	△	△	△	△	⑤
		音楽コース		20	15	—	—	5	△	△	—	△	
		美術コース		20	12	—	5	3	△	△	△	△	
		保健体育コース		20	12	—	4	4	△	△	△	△	
		家庭コース		10	8	—	—	2	△	△	△	△	①
		技術コース		10	7	—	2	1	△	△	△	△	②
		英語コース		15	8	—	7	—	△	△	△	△	
		書道コース		20	16	—	4	—	△	△	—	△	
		情報コース		20	15	—	—	5	△	△	△	△	
		（小計）		250	183	15	32	20					
	特別支援教育専攻（C類）			40	32	—	8	—	△	△	△	△	⑥
	養護教育専攻（D類）	養護教育コース		10	6	—	4	—	△	△	—	△	
	【合計】			825	591	79	120	35					
教育支援課程	教育支援専攻（E類）	生涯学習・文化遺産教育コース		35	30	5	—	—	△	△	△	—	
		カウンセリングコース		20	13	—	7	—	△	△	△	—	
		ソーシャルワークコース		20	18	—	2	—	△	△	—	—	
		多文化共生教育コース		40	30	10	—	—	△	△	△	—	
		情報教育コース		15	10	5	—	—	△	△	△	—	
		表現教育コース		20	15	—	5	—	△	△	—	—	
		生涯スポーツコース		35	18	—	—	17	△	△	△	—	
	【合計】			185	134	20	14	17					
総計				1,010	725	99	134	52					

※ 注記は次ページに記載しています。

（注１）帰国生選抜，私費外国人留学生選抜，国際バカロレア選抜，高大接続プログラム特別入試（※）の募集人員「若干名」は，入学定員に含みます。
（※）東京学芸大学附属高等学校及び東京学芸大学附属国際中等教育学校からの特別入試。
（注２）募集人員において「―」は募集なし，「△」は若干名の募集を表します。
（注３）学校推薦型選抜，総合型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たない場合，一般選抜の合格者で補充します。
（注４）参考のため，一般選抜以外の募集人員等についても掲載しています。
（注５）特別事項は「**２．類・コース別の特別事項**」を参照すること。

２．類・コース別の特別事項

(1) 一般選抜〔前期日程〕において第２志望を認めるコース

① Ａ類家庭コース・Ｂ類家庭コースの間
Ａ類の志願者はＢ類を第２志望とすることができ，Ｂ類の志願者はＡ類を第２志望とすることができます。
② Ａ類ものづくり技術コース・Ｂ類技術コースの間
Ａ類の志願者はＢ類を第２志望とすることができ，Ｂ類の志願者はＡ類を第２志望とすることができます。

(2) 一般選抜〔後期日程〕において第２志望を認めるコース

③ Ａ類社会コース・Ｂ類社会コースの間
Ａ類の志願者はＢ類を第２志望とすることができ，Ｂ類の志願者はＡ類を第２志望とすることができます。
④ Ａ類数学コース・Ｂ類数学コースの間
Ａ類の志願者はＢ類を第２志望とすることができ，Ｂ類の志願者はＡ類を第２志望とすることができます。
⑤ Ａ類理科コース・Ｂ類理科コースの間
Ａ類の志願者はＢ類を第２志望とすることができ，Ｂ類の志願者はＡ類を第２志望とすることができます。

（注１）出願登録時に，第２志望の有無について選択することができます。
（注２）(1)及び(2)の第２志望を認めるコース間においては，Ａ・Ｂ両類を合併して選抜を行い，志願先の類を優先して合格者を決定します。

(3) コースの決定を第２学年進級時に行う専攻

⑥ 特別支援教育専攻（Ｃ類）
この専攻には「聴覚障害・言語障害系コース」及び「発達障害・学習障害系コース」の２コースがあり，コースの決定は第２学年進級時に行います。
※ 入学者選抜は専攻単位で行います。

(4) サブコースの決定を第２学年進級時に行うコース

⑦ Ａ類国語コース
このコースには「日本語教育サブコース」があり，サブコースの決定は第２学年進級時に行います。

Ⅳ．出願資格等

１．出願資格

大学入学資格を有する者（令和９年３月 31 日までに有する見込みの者を含む）で，かつ，本学が指定する令和９年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目をすべて受験した者

大学入学資格を有する者とは，次の(1)から(3)のいずれかを満たす者を言います。

(1)　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（注１）

(3)　学校教育法施行規則第 150 条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑧のいずれかに該当する者

①　外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

④　文部科学大臣の指定した者（注２）

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第２項の規定により他の大学に入学した者であって，高等学校卒業程度認定審査規則（令和４年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

⑦　学校教育法第 90 条第２項の規定により他の大学に入学した者であって，本学において，本学の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注３）

⑧　本学において，個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18 歳に達した者（注３）

（注１）特別支援学校高等部又は高等専門学校第３学年を修了した者が該当します。

（注２）外国の大学入学資格である国際バカロレア資格，アビトゥア資格（ドイツ），バカロレア資格（フランス），GCEA レベル資格（英国），国際 A レベル資格（英国），欧州バカロレア資格（欧州連合構成国）のいずれかを有する者，国際的な評価団体（WASC，ACSI，NEASC，CIS，Cognia，COBIS）から認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者等が該当します。＊文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は今後追加されることがあります。追加が生じた場合、学部入試情報サイトに掲載しますので，確認してください。

（注３）上記大学入学資格の(3)⑦又は⑧により出願しようとする者は，事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので，以下の要領で申請書類を提出してください。

入学資格審査要領

◇提出書類

1. 申請書（所定様式：学部入試情報サイトに掲載）
2. 卒業（修了）証明書（見込みの場合は見込証明書）
3. 調査書又は成績証明書等（出身学校の長が作成し，厳封したもの）
4. 出身学校等の教育課程が明らかとなる資料（学則，カリキュラム表，授業時間数一覧など）
5. 返信用封筒（長形３号封筒に返送先を明記し，書留速達による返信用郵便切手（890 円分）を貼付）

＊上記 2.～4. の書類については「高等学校の課程に相当する課程以降の学歴に関するものすべて」を提出。

＊必要に応じて追加で証明書等の提出を求める場合があります。

◇審査体制・審査方法：本学学部入試委員会において，提出書類等に基づき適正に審査を行います。

◇提出先：東京学芸大学 学務部入試課学部入試係（郵送のみ）

◇申請期間

~~第１回（大学入学共通テストに出願する者）…令和８年８月 19 日（水）～８月 21 日（金）期間内必着~~【終了】

第２回（大学入学共通テスト受験後に志望を変えて本学への出願を希望する者）

…令和９年１月 19 日（火）～１月 21 日（木）期間内必着

◇申請方法

・封筒の表に「第２回 入学資格審査申請書類在中」と明記してください。

・申請は郵送（書留速達）としてください。

◇審査結果の通知

本学が定める様式により申請者本人に通知します。本学への入学資格を認定された者は，令和９年度一般選抜の出願時に認定書のコピー１部が必要となります。

２．出願にあたっての留意事項

(1)　本学の一般選抜は「分離・分割方式」（前期日程及び後期日程）で実施します。

(2)　志願者は国公立大学について，「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つの合計２つの大学・学部（本学においては課程，専攻，コース・プログラム）に出願することができます。同一日程の併願（「前期－前期」，「後期－後期」）はできません。ただし，独自日程で試験を実施する公立大学・学部は含まれません。詳細は公立大学協会ウェブサイトで確認してください。

(3)　前項(2)については，両日程（前期日程・後期日程）を本学（選抜を実施する課程，専攻，コース・プログラムに限る）とすることができます。
　なお，**両日程（前期日程・後期日程）を本学とする場合であっても，日程別にそれぞれ出願手続（出願内容の登録及び検定料の支払い，ならびに出願書類の提出）を行う必要があります**。その際，出願書類の入れ間違いには十分注意してください。

(4)　国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜（注１）の合格者は，合格先大学・学部が定める手続により入学辞退を許可された場合を除いて，一般選抜を受験してもその合格者とはなりません。
（注１）異なる名称を使用していてもこれらの選抜に分類されることがありますので，合格先大学に確認してください。
　　本学においては，高大接続プログラム特別入試は学校推薦型選抜に含みます。

(5)　本学では，各日程の出願において第２志望を認めるコースがあります。「**Ⅲ．教育学部における課程，専攻（類），コース・プログラムの募集人員等**」の「**２．類・コース別の特別事項**」で対象となる日程・コースを確認のうえ，出願登録時に間違いの無いように登録してください。

(6)　大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等を不足なく受験しているかを「**Ⅵ．入学者選抜**」の「**２．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）**」で確認してください。不足していると出願無資格者となり，出願しても東京学芸大学入学試験は受験できません。

Ⅴ．出願手続期間及び出願手続方法（両日程共通）

１．出願手続期間

(1) 出願登録期間（インターネット出願サイトにおける出願内容の登録及び検定料の支払い期間）
令和９年１月 22 日（金）10 時 00 分から同年２月３日（水）９時 00 分まで

(2) 出願期間（出願書類の郵送提出期間）
令和９年１月 25 日（月）から同年２月３日（水）まで〔書留速達郵便・期間内必着〕
出願書類等を一括して書留速達郵便により必ず上記期間内に到着するよう郵送してください（１月 24 日以前は書類を受け付けません)。ただし，出願期間後に到着した場合は，２月１日以前の発信局消印があり，かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。持参による出願は認めません。

（注１）(1)及び(2)の両方を完了しない場合は，「出願」をしたことにはなりません。
（注２）(1)に示す出願内容の登録・検定料の支払いをあわせて「出願登録」と言います。また，「出願登録」と(2)に示す出願書類の郵送提出をあわせて「出願手続」と言います。
（注３）郵送書類の到着状況及び出願受理状況についてはお答えできません。到着状況は日本郵便の追跡サービスを利用し確認してください。また，出願を受理した者には受験票を交付します。

２．出願手続方法

（出願手続期間開始前）
・学生募集要項の内容をよく確認してください。
・本学「学部入試情報サイト」からダウンロードする書類や各種証明書等はあらかじめ準備しておくことが望ましい。
・質問がある場合は，早めに問い合わせてください。
（出願登録期間開始）
・期間内に余裕をもって，出願内容の登録及び検定料の支払いを済ませてください。
・必要な出願書類が揃っているか確認しましょう。
（出願期間開始）
・期間内に到着するよう，余裕をもって出願書類の郵送を行ってください。

(1) 事前に準備するもの

① インターネット環境（注１）
② インターネットに接続可能なパソコン（注１，注２）
③ Ａ４サイズ，解像度 300dpi 以上，カラーによる印刷が可能なプリンター（注３，注５）
④ 角型２号封筒，接着用のり（出願書類の郵送に使用）
⑤ Ａ４白色コピー用紙（出願書類の印刷に使用）
※電算処理をすることがあるため，他のサイズ（Ａ３，Ｂ４等）から切り出した用紙は使用しないでください。

（注１）個人又は家庭でこれらの環境が無い場合は，在学又は卒業学校，公共施設等におけるこれらの設備の利用を検討してください。利用方法等は設置者が定める方法に従ってください。その際，自動ログイン設定，ブラウザへのパスワード保存等はしないでください。
（注２）スマートフォン又はタブレット端末でも出願登録が可能です。
（注３）家庭にプリンターが無い場合は，在学又は卒業学校，公共施設・商業施設・コンビニエンスストア等に設置されている機器の利用を検討してください。利用方法等は設置者（店）が定める方法に従ってください。
（注４）**注１，注３の方法によっても対応できない特別の事情がある場合は，できるだけ早い時期に入試課学部入試係（042-329-7204）まで相談してください。出願手続期間開始後の申し出では配慮が困難な場合があります。**
（注５）機能上これらの要件を満たしていても，印刷設定によってはこの要件を満たす印刷ができないことがありますので，設定についてもあわせて確認してください。
（注６）機器設定方法・操作方法についてのご質問には，本学では一切お答えできません。

(2) インターネット出願サイトでのマイページ登録・出願登録（出願内容の登録及び検定料の支払い）

①「学部入試情報サイト」からインターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/u-gakugei/）にアクセスしてください。

② マイページの登録（出願手続期間開始前から登録可能です）

画面の案内に従い，必要事項を入力のうえマイページ登録を行ってください。１回のマイページ登録で本学の前期日程及び後期日程の両日程に出願することができます。また，本学教育学部の学校推薦型選抜，総合型選抜等の他選抜（ただし，同じ年度内に実施されたものに限る）に出願したことがある場合は，再度マイページ登録をする必要はありません。

なお，マイページで登録した（又はすでにされている）情報は，「③出願内容の登録」の際に使用されるため，③を完了した後にマイページ上で登録情報を変更しても，すでに完了している出願登録の内容は変更されません。したがって，他選抜から引き続きマイページアカウントを使用して③を行う場合や，登録誤りにより③をやり直す場合は，事前に登録情報が正しいか確認し，必要に応じて変更を行ってください。

③ 出願内容の登録

画面の案内及び学生募集要項等を確認のうえ，間違いの無いように登録してください。検定料の支払い画面に移行すると登録内容は変更できませんが，支払い期限までに支払いが無い場合は③自体がキャンセルされます。登録内容の誤りに気付いたら検定料の支払いは行わず，改めて③からやり直してください（その際，②の「なお，」以降にも留意すること）。

《大学入学共通テストの成績請求情報（※）の提供手続について》

本学の一般選抜へ出願するにあたり，ご自身の成績請求情報を本学へ提供する手続が必要です。

「Web 方式」による手続を実施します。

共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容の確認・訂正」から，「申込番号」を確認した後，本学のインターネット出願サイトで出願登録をする際に，「申込番号」等を入力してください。「申込番号」等を入力することで，大学入試センターから本学へ成績請求情報が提供されます。

なお，操作の誤り等により共通テスト出願サイト上で成績請求情報提供の取り消しを行う場合，「令和９年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト　受験案内」57 ページのとおり，取り消しの可否を含めてお伝えしますので，必ず本学入試課学部入試係（042-329-7204）へ連絡し指示を受けてください。

（※）成績請求情報とは，各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

④ 検定料の支払い

下記要領を確認のうえ，**検定料 17,000 円**（注）の支払いを行ってください。**検定料の支払いを完了すると出願登録内容の変更及び出願登録の取り下げはできません。**万一この段階で出願内容の登録誤りに気付いたら，その登録に対しては出願書類の郵送提出をせず，改めて③からやり直してください（その際，②の「なお,」以降にも留意すること）。

（注）検定料 17,000 円のほか，支払い方法に応じた払込手数料が加算されます。

① 次のいずれかの方法により検定料の支払いを行ってください。

（ア）クレジットカードによる支払い
　出願情報登録後，画面の指示に従って支払い手続を行ってください。
（イ）ネットバンキングによる支払い
　出願情報登録後，画面の指示に従って支払い手続を行ってください。
（ウ）コンビニエンスストアでの支払い
　出願情報登録後に表示される（登録したメールアドレス宛てにも送付される）支払い番号をメモ等のうえ，コンビニエンスストアで支払い手続を行ってください。詳細は出願サイトでの案内を参照すること。
（エ）ペイジー（Pay-easy）対応の銀行ＡＴＭによる支払い
　出願情報登録後に表示される（登録したメールアドレス宛てにも送付される）支払い番号をメモ等のうえ，ペイジー対応のＡＴＭで支払い手続を行ってください。詳細は出願サイトでの案内を参照すること。

② いったん支払われた検定料は，次のいずれかの場合を除き返還しません。該当する場合は〔括弧〕内に示す金額を返還します。なお，理由にかかわらず検定料以外（払込手数料）は返還しません。
　㋐ 出願書類が受理されなかった場合〔全額〕
　㋑ 出願後に大学入学共通テストの受験科目不足による無資格者であることが判明した場合〔一部：13,000 円〕
　㋒ 出願登録（出願内容の登録及び検定料の支払い）をしたが，出願書類を郵送提出しなかった場合〔全額〕

③ 検定料の返還について
（ア）②㋐・㋑に該当する場合は，検定料の返還請求手続方法について通知するので，それにより返還請求手続を行ってください。返還請求手続が無い場合は返還しません。
（イ）②㋒に該当する場合は，速やかに本学経理課（電話 042-329-7143）に連絡し，検定料の返還請求手続を行ってください。連絡が無い場合及び返還請求手続が無い場合は返還しません。

④ 検定料の免除について
　震災及び台風等（激甚災害指定）で被災した入学試験志願者に対して入学検定料の免除措置を行います。詳しくは本学ウェブサイト《https://www.u-gakugei.ac.jp/02nyushi/menjo》をご覧ください。

(3) 所定様式のダウンロード・出願書類等の郵送提出

（注１）**＊印は本学所定の様式。本学「学部入試情報サイト」からダウンロード**してください。なお，記入は手書き又はＰＣ入力のどちらでも構いません。ただし，様式の改変は行わないこと。

（注２）**★印は出願サイトから検定料の支払い完了後にダウンロードする様式**（見本を「**Ⅺ．出願書類（所定様式）の見本**」に掲載しています）。**各日程で様式が異なるので，両日程（前期日程・後期日程）を本学とする場合は，提出時に書類の入れ間違いがないよう注意すること。**

（注３）＊印及び★印の様式は，白色Ａ４コピー用紙に等倍印刷すること。カラー印刷及び両面印刷の指示は，下表の備考欄に従うこと。指示の無いものは，モノクロ印刷及び片面印刷とする。

（注４）◎印は全員が提出必須のもの，△印は該当する者のみが提出するもの。

（注５）備考等欄に実技試験について指示があるものは「**Ⅵ．入学者選抜**」の「**８．実技試験等の内容**」を参照すること。

（注６）一度提出された書類は**いかなる理由があっても返却しない**ので注意すること。

（注７）その他必要に応じて，下表とは別に証明書等の追加提出を求める場合があります。

出願書類等			前期	後期	備考等
①	出願書類郵送用ラベル	★	◎	◎	①（ラベル）をカラー印刷のうえ，②（封筒）の表面にはがれないように貼付すること。なお，①に印字された内容が汚破損しないよう注意すること。これを③以降の出願書類等の郵送提出に使用すること。 ※①は出願サイトから検定料の支払い完了後にダウンロード可能。
②	角型２号封筒				
③	出願書類等提出明細票	＊	◎	◎	必要事項を記入のうえ提出すること。
④	入学志願票（兼 出願内容確認票）	★	◎	◎	必要事項を記入のうえ提出すること。 ※出願サイトから検定料の支払い完了後にダウンロード可能。
⑤	調査書等		◎	◎	詳細は次項「**(4) 調査書等について**」を確認し間違いのないように提出すること。
⑥	志願理由及び活動報告書	＊	◎	◎	志願者本人が作成すること。原則両面印刷（長辺とじ）とし，片面印刷の場合は左上をホッチキス留めすること。
⑦	競技成績等証明書	＊	△		Ａ・Ｂ類保健体育コース及びＥ類生涯スポーツコース志願者全員が提出すること。 作成にあたっては，備考欄や「競技成績等証明書」，「競技成績等資料（表紙）」に記載している注意事項をよく確認すること。 1) ⑦は，学校長が押印及び厳封のうえ提出すること。 2) ⑧には，⑦に記入した競技記録・特記事項について添付する証明資料の内容を記入すること。 3) ⑨の「⑦に記入した競技記録・特記事項について証明できる資料」として，賞状のコピー・公式記録・プログラム・当該競技団体による成績証明書等，**プレーヤーとして試合・発表会等に出場したことが分かるもの**を可能な限り添付すること。 4) これらの資料がウェブサイト，新聞，雑誌等に掲載されたもののコピーや切り抜き等の場合は，ＵＲＬや掲載日・閲覧日，掲載紙・誌名，発行年月日が確認できるようにすること。 5) 3)及び 4)は可能な限りＡ４サイズに統一すること。見やすければ縮小コピーをしてもよい。これより大きい場合は折りたたむなど，見やすいように作成すること。 6) ⑦～⑨の競技記録・特記事項は一致させること。また，⑨には⑦，⑧に記入した競技記録・特記事項のいずれに該当するか分かるように番号等を明記すること。 7) ⑧を表紙として⑨とともにホッチキス等で左側を綴じること。
⑧	競技成績等資料（表紙）	＊	△		
⑨	⑦に記入した競技記録・特記事項について証明できる資料		△		
⑩	自由曲の伴奏譜（２部）		△	△	Ａ類音楽で実技課題Ⅰ又はⅡを選択した志願者， Ｂ類音楽で実技課題Ⅰを選択した志願者（前期のみ）は提出。 ※表紙右上に日程，類・コース及び氏名を記入すること。
⑪	自作品の楽譜（１部）		△		Ｂ類音楽で実技課題Ⅳを選択した志願者は提出。 ※表紙右上に日程，類・コース及び氏名を記入すること。

(4) 調査書等について

大学入学資格（「**Ⅳ．出願資格等**」の「**１．出願資格**」）に応じて，下表㋐～㋖のいずれか（原則として原本）を**必ず**提出してください。

提出するもの		該当する出願資格・備考
㋐	調査書	大学入学資格(1)，(2)及び(3)②のいずれかに該当する者は，欄外「**調査書について**」に従い提出してください。
㋑	卒業（修了）証明書及び成績証明書	大学入学資格(3)①に該当する者
㋒	修了証明書及び成績証明書	大学入学資格(3)③に該当する者
㋓	資格証書及び成績証明書，修了証明書等	大学入学資格(3)④に該当する者は，その出願資格を満たすことが証明できる書類（原本）を提出すること。資格証書等，再発行されないものはコピーを提出すること。
㋔	合格成績証明書 （合格見込み者は合格見込成績証明書）	大学入学資格(3)⑤に該当する者は提出すること。高等学校等で単位修得をしていて一部試験科目を免除されている場合は，単位修得をした高等学校等の調査書又は成績証明書をあわせて提出すること。
㋕	合格証明書	大学入学資格(3)⑥に該当する者
㋖	入学資格認定書（コピー）	大学入学資格(3)⑦又は⑧に該当し，本学への入学資格を認定された者は提出すること。他大学の入学資格認定書は使用できません。

◆調査書について

① 調査書は下記(a)～(b)の要領により出身学校長が作成したものを厳封すること。
(a) 大学入学資格(1)に該当する者及び特別支援学校高等部の卒業（見込み）者は，文部科学省の定めた様式により作成すること。
(b) 高等専門学校第３学年修了（見込み）者及び大学入学資格(3)②に該当する者は，文部科学省の定めた様式に準じて作成すること。
② 卒業見込みの者については，出願時点で確定している成績が記載された調査書を提出すること。
既卒者は卒業後に発行された調査書を提出すること。
③ 指導要録の保存期間終了，廃校，被災等の事情により調査書を得られない場合は，下記(a)～(c)のすべてを提出すること。これらの内容がひとつの証明書に併記されていてもよい。
(a) 卒業証明書
(b) 調査書の発行不能証明書
(c) 成績証明書又は単位取得証明書（これも発行不能の場合は，発行不能証明書）
(注) 特に廃校，被災等の事情により出身学校に発行を依頼することが困難な場合は，出身学校を所管する教育委員会等に問い合わせのうえ，これらに準ずる証明書を提出すること。

３．出願にあたっての注意事項

(1) 全般的な注意事項

① 両日程（前期日程・後期日程）を本学とする場合であっても，日程別にそれぞれ出願手続（出願登録及び出願書類の郵送提出）をする必要があります。郵送書類は全て日程別に用意し，各日程のラベルを貼付した封筒に封入のうえ，日程別に分けて提出してください。

② **出願登録の際はもっとも確実な住所及び電話番号を登録してください。**

③ **出願内容に不備がある場合は出願を受理しません。**

④ **出願手続完了後は，どのような理由があっても出願内容の変更及び出願の取り下げは認めません。**また，いったん受理した出願書類は返却しません。なお，「出願手続完了」とは，志願者が出願登録及び出願書類郵送提出の両方を完了した状態のことを言います。

⑤ 万一，出願登録された内容と出願書類の記載内容との間に不一致があった場合は，原則として出願登録された内容を正しいものと見なして処理します。

⑥ 出願手続又は出願内容に不正があった場合は，入学許可の後でもこれを取り消します。

(2) 出願登録（出願内容の登録及び検定料の支払い）についての注意事項

① 出願登録の内容に誤りが無いよう十分注意してください。

② ネットワークの混雑や一時的な不具合を原因として出願手続期間・時間内に出願が完了しなかった場合においても一切の配慮はいたしません。出願手続期間・時間内に余裕をもって出願登録及び所定様式のダウンロードを完了するようにしてください。ただし，自然災害や大規模なネットワーク障害等に起因する場合はこの限りではありません。

③ マイページでは出願登録や受験票の交付を行うほか，本学入試課からのお知らせ等を配信することがありますので，ログイン情報を忘れないよう注意してください。また，メールアドレスは最も確実なものを登録してください。

なお，マイページに登録されたメールアドレスについては「**２．出願手続方法**」(2)②によらず随時変更可能です。

(3) 出願時に登録する住所・電話番号の使用範囲と変更について

① 出願時に登録する住所は「合格通知書・入学手続関係書類の送付」に，電話番号は「出願後から入学手続までに本学から志願者に連絡を取る必要が生じた場合」に使用します。よって，出願時点で各日程の合格者発表までに現住所から住所変更が生じることが明らかで，かつ新しい住所が決定している場合は，出願時には新しい住所を登録してください。また，電話番号はできるだけ変更が生じないもの（携帯電話番号等）としてください。

② 出願時に予期できなかった事情により出願手続後に住所・電話番号を変更する必要が生じた場合は，当該項目に限り変更を認めますので，各日程の試験初日の前営業日 17 時までに入試課学部入試係（042-329-7204）に連絡のうえ，指示を受けてください。また，必要に応じて郵便局へ転居届の届け出を行っておいてください。《https://www.post.japanpost.jp/service/tenkyo/》

③ 入学手続以降のことについては合格者に改めてお知らせします。また，追加合格に関係することについては「**Ⅷ．試験実施後について（両日程共通）**」の「**３．追加合格**」(7)を参照してください。



出願サイトの操作及び検定料のお支払いについて
株式会社キャリタス
「学び・教育」出願・申込サービス　サポートセンター
電話：0120-202079



出願登録の概要及び出願書類について
東京学芸大学入試課学部入試係
電話：042-329-7204

４．受験票の交付（配信）

受験票については，２月 12 日（金）までにインターネット出願サイトを通じて配信します。受験票はＡ４白色コピー用紙に等倍印刷のうえ，試験当日に持参してください（スマートフォン・タブレット端末等に表示させて使用することは認めません）。

※入試当日は当受験票のほかに大学入学共通テスト受験票も必要ですので、忘れずに持参してください。

Ⅵ．入学者選抜

１．選抜方法

大学入学共通テストと東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。大学入学共通テストの成績では学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度」）のうち「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力等」を評価します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の３要素のすべて及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の３要素のうち「主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお，大学入学共通テストの各科目等の得点及び合計得点と，東京学芸大学入学試験の各科目等の得点のうち，いずれか１つでも本学の定めた基準点（令和９年５月頃に公表予定）に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。また，本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を１つでも受験しなかった場合は，選抜の対象から除外します。

２．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）

(1)　本学では**大学入学共通テストの過年度の成績は利用しない**ので，必ず令和９年度大学入学共通テストを受験してください。本学が指定する教科・科目を１つでも受験していない者は出願無資格者となります。

(2)　科目名については，次のとおりに省略して表記している箇所があります。

『地理総合，地理探究』→地探，『歴史総合，日本史探究』→日探，『歴史総合，世界史探究』→世探，
『公共，倫理』→公倫，『公共，政治・経済』→公政経，『地理総合／歴史総合／公共』→地歴公，
『数学Ⅰ，数学A』→数ⅠA，『数学Ⅱ，数学B，数学C』→数ⅡBC
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→理基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地，
英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

(3)　本学で成績を利用できる大学入学共通テストの教科・科目は下表のとおりとします。志願先によって教科における利用科目数が異なるので「**３．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表**」で確認してください。

教科	本学で成績を利用できる科目	備　考
国語	国語	分野別の成績利用はしません。
地理歴史 公民	地探，日探，世探， 公倫，公政経，地歴公	• **地歴公は３つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から２つを選択解答すること。これをもって１科目の成績として取り扱う**（以降の記載はこのことを前提とする）。 • **２科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので，大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ，間違いのないように科目登録及び選択解答すること。**
数学	① 数ⅠA ② 数ⅡBC	数学Ⅰは指定外科目です。
理科	理基，物，化，生，地	• **理基は４つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から２つを選択解答すること。これをもって１科目の成績として取り扱う**（以降の記載はこのことを前提とする）。 • **２科目受験の場合でそのうち１科目を理基とする場合，理基以外の１科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。** （例）「物理基礎，化学基礎，生物」は可であるが，「**物理基礎**，化学基礎，**物理**」は不可となる。
外国語	英，独，仏，中，韓	次項(4)を参照すること。
情報	情報Ⅰ	

(4)　「外国語」において「英語」を受験（選択解答）した者は，**リーディングとリスニングの両方の成績を利用します**（成績利用時のリーディング及びリスニングの配点比率は１対１とします)。ただし，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除された場合は，リーディングの成績のみ利用し所定の配点に換算します。

(5)　「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間において２科目を解答する場合は，解答順に第１解答科目，第２解答科目とします。

(6)　「地理歴史，公民」及び「理科」において，本学が成績を利用する科目数を超えて受験（選択解答）していた場合の取り扱いは下表のとおりです。ただし，Ｂ類音楽コース及びＢ類美術コースについては(7)を参照してください。

状　況	取り扱い
(a)「地理歴史，公民」から１科目の成績を利用するところ，２科目を受験	第１解答科目の成績を利用します。
(b)「理科」から１科目の成績を利用するところ，２科目を受験	第１解答科目の成績を利用します。
(c)「地理歴史，公民」及び「理科」から３科目の成績を利用するところ，どちらも２科目の計４科目を受験	「地理歴史，公民」の第１解答科目，「理科」の第１解答科目の成績を両方利用し，加えてそれぞれの第２解答科目のうち高得点の１科目の計３科目の成績を利用します。

(7)　Ｂ類音楽コース及びＢ類美術コースにおいて国語，外国語及び情報を除く教科の成績利用方法については，「地理歴史，公民」，「理科」及び「数学①」の中から高得点の３科目の成績を利用します。ただし，「理科」の成績利用は１科目を上限とするので，２科目を受験していた場合は第１解答科目の成績を利用します。

(8)　志願先に必要な教科・科目を一見満たしていても，(3)に記載した組み合わせ不可科目で受験していた場合，「高得点の科目成績を利用できない」又は「科目数不足により出願無資格となる」可能性があります。本学指定外の科目と組み合わせて受験（選択解答）する場合は，解答順に十分に注意してください（各パターンについては，「**３．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表**」で確認すること)。

なお，教科・科目の選択方法についてのご質問には応じますが，**個別の問い合わせにより各個人の出願資格や成績利用科目を保証するものではないことに留意し，必ず志願者本人の理解と責任のもとで，大学入学共通テストの出願・受験及び本学への出願を行ってください。**

３．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表

以下に大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の指定パターンと，その対象となる類・コースを示します。各教科において本学が指定した科目及び科目数を満たしているかを「確認欄」で確認してください。
また，「**２．大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）**」も併せて確認してください。

パターンⅠ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数	
A類数学 A類理科 A類ものづくり技術 B類数学 B類理科 B類技術 B類情報 D類養護教育 E類情報教育	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探，日探，世探，地歴公（注1）， 公倫，公政経	1	
	理科	理基（注2），物，化，生，地	2	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英，独，仏，中，韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
			〔6教科**8科目**〕	

パターンⅡ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	教科	科目等	指定科目数	
A類国語 A類社会 A類家庭 A類英語 A類現代教育実践 　学校教育プログラム 　学校心理プログラム 　国際教育プログラム A類幼児教育 B類国語 B類社会 B類家庭 B類英語 E類生涯学習･文化遺産教育 E類カウンセリング E類ソーシャルワーク E類多文化共生教育 E類表現教育	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探，日探，世探，地歴公（注1）， 公倫，公政経	1又は2	3
	理科	理基（注2），物，化，生，地	1又は2	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英，独，仏，中，韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
			〔6教科**8科目**又は7教科**8科目**〕	

（注１）**地歴公は３つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から２つを選択解答すること。**これをもって１科目の成績として取り扱う。**また，２科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので，大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ，間違いのないように科目登録及び選択解答すること。**

（注２）**理基は４つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から２つを選択解答すること。**これをもって１科目の成績として取り扱う。**また，２科目受験の場合でそのうち１科目を理基とする場合，理基以外の１科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。**
（例）「物理基礎，化学基礎，生物」は可であるが，「物理基礎，化学基礎，物理」は不可となる。

パターンⅢ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	教科	科目等	指定科目数	
A類現代教育実践 環境教育プログラム C類	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探，日探，世探，地歴公（注1）， 公倫，公政経	1	
	理科	理基（注2），物，化，生，地	1	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英，独，仏，中，韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
			〔6教科**7科目**〕	

パターンⅣ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数	
A類音楽 A類美術 A類保健体育 B類保健体育 B類書道 E類生涯スポーツ	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探，日探，世探，地歴公（注1）， 公倫，公政経	1	
	理科	理基（注2），物，化，生，地	1	
	数学	① 数ⅠA	必須	
	外国語	英，独，仏，中，韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
			〔6教科**6科目**〕	

パターンⅤ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等				確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数		
B類音楽 B類美術	国語	国語	必須		
	地理歴史 公民	地探，日探，世探，地歴公（注1）， 公倫，公政経	1又は2	3	
	理科	理基（注2），物，化，生，地	0又は1		
	数学	① 数ⅠA	0又は1		
	外国語	英，独，仏，中，韓 （英語はリスニング必須）	1		
	情報	情報Ⅰ	必須		
			〔5教科**6科目**又は6教科**6科目**〕		

（注1）**地歴公は3つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から2つを選択解答すること。**これをもって1科目の成績として取り扱う。**また，2科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので，大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ，間違いのないように科目登録及び選択解答すること。**

（注2）**理基は4つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から2つを選択解答すること。**これをもって1科目の成績として取り扱う。**また，2科目受験の場合でそのうち1科目を理基とする場合，理基以外の1科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。**

（例）「物理基礎，化学基礎，生物」は可であるが，「**物理**基礎，化学基礎，**物理**」は不可となる。

４．東京学芸大学入学試験の試験期日

(1) 前期日程 …… 令和９年２月 25 日（木）・２月 26 日（金）
(2) 後期日程 …… 令和９年３月 12 日（金）

５．東京学芸大学入学試験の日程，出題教科・科目等

(1) 前期日程

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）		前期日程				
			試験日	試験時刻	教科・科目等（注）		摘要
学校教育教員養成課程	Ａ類国語コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 12:30	小論文	◎	
	Ａ類社会コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 11:50	小論文	◎	
	Ａ類数学コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 12:00	小論文	◎	
	Ａ類理科コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎2	
				11:30 ～ 11:50	小論文	◎	
	Ａ類音楽コース		２月 25 日(木)	9:30 ～	共通試験	◎	日程の詳細は別途通知する。
					音楽実技	◎	
					面接	◎	
	Ａ類美術コース		２月 25 日(木)	10:00 ～	図工・美術実技	◎	
				13:00 ～	面接	◎	
	Ａ類保健体育コース		２月 25 日(木)	13:00 ～	体育実技	◎	
			２月 26 日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ａ類家庭コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
	Ａ類英語コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				13:00 ～	面接	◎	英語によるものを含む。
	Ａ類現代教育実践コース	学校教育ＰＧ	２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
		学校心理ＰＧ	２月 25 日(木)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
		国際教育ＰＧ	２月 25 日(木)	9:00 ～	面接	◎	
		環境教育ＰＧ	２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎1～2	
				11:30 ～ 11:50	小論文	◎	
	Ａ類ものづくり技術コース		２月 25 日(木)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。
	Ａ類幼児教育コース		２月 25 日(木)	9:00 ～	面接	◎	幼児教育課題（記述）を含み，面接における口頭試問で用いる。
	Ｂ類国語コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 12:30	小論文	◎	
	Ｂ類社会コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 11:50	小論文	◎	
	Ｂ類数学コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
				11:30 ～ 12:00	小論文	◎	
	Ｂ類理科コース		２月 25 日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎2	
				11:30 ～ 11:50	小論文	◎	
	Ｂ類音楽コース		２月 25 日(木)及び２月 26 日(金)	9:30 ～	共通試験	◎	日程の詳細は別途通知する。
					音楽実技	◎	
					面接	◎	
	Ｂ類美術コース		２月 25 日(木)	10:00 ～	美術実技	◎	
			２月 26 日(金)	9:00 ～	面接	◎	

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）	前期日程				
		試験日	試験時刻	教科・科目等（注）		摘要
学校教育教員養成課程	Ｂ類保健体育コース	2月25日(木)	9:00 ～	体育実技	◎	
		2月26日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ｂ類家庭コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
	Ｂ類技術コース	2月25日(木)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。
	Ｂ類英語コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
			13:00 ～	面接	◎	英語によるものを含む。
	Ｂ類書道コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
			11:30 ～ 12:30	小論文	◎	
			13:30 ～ 15:00	書道実技	◎	
	Ｂ類情報コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
			13:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ｃ類	2月25日(木)	9:00 ～ 10:30	小論文	◎	
			12:00 ～	面接	◎	
	Ｄ類養護教育コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
			13:00 ～	面接	◎	
教育支援課程	Ｅ類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
	Ｅ類カウンセリングコース	2月25日(木)	9:00 ～	面接	◎	
	Ｅ類ソーシャルワークコース	2月25日(木)	9:00 ～ 10:30	小論文	◎	
	Ｅ類多文化共生教育コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
	Ｅ類情報教育コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	個別テスト	◎	
			13:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ｅ類表現教育コース	2月25日(木)	9:00 ～ 11:00	小論文	◎	
	Ｅ類生涯スポーツコース	2月26日(金)		書類	◎	
			9:00 ～	面接	◎	

（注）◎印は受験が必須であることを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す（記載のないものは１教科又は１科目を課すことを示す）。

(2) 後期日程

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）	後期日程				
		試験日	試験時刻	教科・科目等（注）		摘要
学校教育教員養成課程	Ａ類国語コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ａ類社会コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ａ類数学コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ａ類理科コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ａ類音楽コース	3月12日(金)	9:30 ～	音楽実技	◎	日程の詳細は別途通知する。
				面接	◎	
	Ａ類現代教育実践コース（学校教育ＰＧ）	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ｂ類社会コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ｂ類数学コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
	Ｂ類理科コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。
教育支援課程	Ｅ類生涯学習・文化遺産教育コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ｅ類多文化共生教育コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	
	Ｅ類情報教育コース	3月12日(金)	9:00 ～	面接	◎	口頭試問を含む。

（注）◎印は受験が必須であることを示す。

６．教科・科目に係る個別テスト等の詳細

対象の類・コース	個別テスト等の教科・科目等		必須又は必要科目数	摘要	試験時間（予定）
	出題教科	出題科目（範囲）			
Ａ類国語コース Ｂ類国語コース Ｂ類書道コース	国語	現代の国語 言語文化 論理国語 文学国語 国語表現 古典探究	必須		120 分
Ａ類社会コース Ｂ類社会コース	地理歴史	歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 地理総合	１科目	『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合』，『公共』の４科目の中から１科目を選択する。	120 分
	公民	公共			
Ａ類数学コース Ｂ類数学コース Ｂ類情報コース Ｅ類情報教育コース	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学Ａ 数学Ｂ 数学Ｃ	必須	『数学Ａ』は，図形の性質，場合の数と確率 『数学Ｂ』は，数列，統計的な推測 『数学Ｃ』は，ベクトル，平面上の曲線と複素数平面	120 分
Ａ類理科コース	理科	(a) 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	１	計２科目	(a)・(b)各欄から１科目ずつの計２科目を選択する。 ただし，(a)-(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。 （例えば『物理基礎』と『物理基礎，物理』の組み合わせは不可。）	120 分 （２科目計）
		(b) 物理基礎，物理 化学基礎，化学 生物基礎，生物 地学基礎，地学	１			
Ｂ類理科コース	理科	物理基礎，物理 化学基礎，化学 生物基礎，生物 地学基礎，地学	２科目		120 分 （２科目計）
Ａ類英語コース Ｂ類英語コース	外国語 （英語）	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ （ディクテーションを含む）	必須	試験時間のうち，筆記試験が 90 分，ディクテーションが約 10 分。	約 120 分
Ａ類現代教育実践コース （環境教育プログラム）	理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	２科目	「理科」又は「地理歴史・公民」のどちらかを選択する。	120 分 （理科の場合は２科目計）
	地理歴史	歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 地理総合	１科目		
	公民	公共			
Ｅ類生涯スポーツコース	書類		必須	出願書類のうち，「志願理由及び活動報告書」と，同コース専用様式の「競技成績等証明書」，「競技成績等資料（表紙）」及び「競技成績等資料」とする。	

７．小論文の概要

【前期日程】

(1) Ａ類国語コース・Ｂ類国語コース

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して，論述させ，教職への志望意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) Ａ類社会コース・Ｂ類社会コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して，論述させ，教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(3) Ａ類数学コース・Ｂ類数学コース

数学に関する課題を提示して，論述させ，知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(4) Ａ類理科コース・Ｂ類理科コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して，論述させ，教師への意欲及び主体的に学習に取り組む態度等を評価する。

(5) Ａ類家庭コース・Ｂ類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して，論述させ，基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) Ａ類現代教育実践コース（学校教育プログラム）

学校内外の教育に関する諸問題についての課題を提示して，論述させ，知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(7) Ａ類現代教育実践コース（環境教育プログラム）

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して，論述させ，課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに，教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(8) Ｂ類書道コース

書の文化と理論及び書写・書道教育に関する課題を提示して，論述させ，知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) Ｃ類（特別支援教育専攻）

教育や障がいに関する課題を提示して，論述させ，論理構成力，知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) Ｄ類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して，論述させ，関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(11) Ｅ類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して，論述させ，洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(12) Ｅ類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して，分析・論述させ，理解力，思考力，表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(13) Ｅ類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して，分析・論述させ，理解力・思考力・表現力などを総合的に評価するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(14) Ｅ類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより，志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに，アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

８．実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題，選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考
Ａ類美術コース	図工・美術実技	選択問題
Ｂ類美術コース	美術実技	選択問題
Ａ類保健体育コース Ｂ類保健体育コース	体育実技 （基礎運動技能テスト）	複数の基礎的な運動の出来映えを評価
Ｂ類書道コース	書道実技	
Ａ類音楽コース Ｂ類音楽コース	共通試験	前期日程のみ
	音楽実技	実技課題を選択 Ｂ類は前期日程のみ

(1) 図工・美術実技の内容（Ａ類美術コース対象）

選択問題（次の２科目から１つを選択）
(a) 小論文（２時間，図工・美術教育について出題し，論述させ，基本的な知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）
(b) 鉛筆による静物デッサン（２時間）

（注）小論文選択者は筆記用具を，静物デッサン選択者は鉛筆デッサン用具一式を持参すること。用紙はＢ３イラストレーションボードを大学で用意します。

(2) 美術実技の内容（Ｂ類美術コース対象）

選択問題（次の２科目から１つを選択）
(a) 小論文（２時間，美術史について出題し，論述させ，基本的な知識・技能，思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）
(b) 石膏デッサン（４時間，鉛筆又は木炭，併用も可）

（注）小論文選択者は筆記用具を，石膏デッサン選択者は鉛筆デッサン用具一式又は木炭デッサン用具一式を持参すること。用紙・イーゼル・カルトンは大学で用意します。

(3) 体育実技の内容（Ａ類保健体育コース・Ｂ類保健体育コース対象）

基礎運動技能テストを実施する。内容は，ボール運動（バスケットボール，サッカー，バレーボール，ソフトボールから２種目），器械運動(＊1)（マット運動，跳び箱運動，鉄棒運動から１種目），陸上運動（走り幅跳び，ハードル走から１種目）の４種目とする。各運動で実施する種目は全受験者共通とし，当日指定する。

（＊１）器械運動のマット運動は「伸膝前転」「ロンダート」，跳び箱運動は「頭はね跳び」，鉄棒運動は「逆上がり」「前方支持回転」「後方支持回転」「後ろ振り跳びひねり下り」とする。

① 志願者は次のものを準備すること。

1) 縦 15cm，横 20cm の白い布に受験番号を大きく書き，実技試験で着用する運動着の前後に縫い付けておくこと。
2) 試験競技・種目に適した運動着，運動靴（スパイクシューズの使用は任意）。雨天時は屋外競技・種目を屋内で行うことがあるので，全員が屋内用運動靴を準備しておくこと。
3) 万一に備えて以下のいずれか１点を持参すること。
   ㋐ マイナ保険証（健康保険証登録済のマイナンバーカード）
   ㋑ 資格確認書

② 体育実技の受験に際しては，学内の更衣室を利用して着衣等を着替えることができる。詳細は当日の指示に従うこと。

③ 体育実技の受験に際しては，けが等のないよう各自，十分に注意すること。

(4) 書道実技の内容（Ｂ類書道コース対象）

科　目	内　容	
書道実技 （全て必須）	漢　字　の　書	創作　㋐ 書体 …… 楷書，行書（平易な草書を含む） ㋑ 題材 …… ２字から６字程度の語句 ㋒ 用紙 …… 半紙（33.5cm×24.5cm）
	仮　名　の　書	臨書　用 紙 …… 半紙（同）
	漢字仮名交じりの書	創作　㋐ 題材 …… 短歌，俳句など ㋑ 用紙 …… 小画仙紙半折 1/3（45cm×35cm）
	実　用　の　書 （硬　筆）	㋐ 題材 …… 漢字仮名交じり文 ㋑ 用紙 …… 罫線またはマス目，枠線の用紙

（注）実技試験に際しては次のものを準備すること。
大筆（小画仙紙半折用も含む），小筆，硯，墨（固形墨を磨墨して持参するか，市販の液体墨でもよい），文鎮，下敷き（小画仙紙半折用及び半紙用。ただし，罫線や枠が入ったものは不可），鉛筆，消しゴム，室内靴，外用靴を入れる袋。

(5) 共通試験の内容（Ａ類音楽コース・Ｂ類音楽コース対象（前期のみ））

㋐ 楽典（高等学校卒業程度の音楽に関する問題を含む，40 分間）
㋑ 聴音（単旋律及び大譜表による４声体和声，録音による音源で実施する）
㋒ 新曲視唱（８小節，予見 30 秒間）

(6-1) 音楽実技の内容（Ａ類音楽コース対象）

① 下表のⅠ・Ⅱのいずれかを選択すること（出願時に登録）。
② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例　Ⅰ選択者…声楽，ピアノが必須）。
③ 前期・後期日程で課題の内容が異なる項目があるので注意すること。
④ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
⑤ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	日程	課題
Ⅰ	声楽	前期 後期	自由曲を１曲，原語かつ暗譜で歌う（調は自由。Ｂ類の声楽課題曲〔別表１〕から選んでもよい。コンコーネのような練習曲等は含まない）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に２部提出すること（Ｂ類の声楽課題曲から選ぶ場合も同じ）。なお，楽譜は１ページＡ４の大きさとし，テープ等で製本しないこと。
	ピアノ	前期	次の中から任意の１曲を選び，第１楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 ・D.Scarlatti ： ソナタ ニ短調　K.9 / L.413 ・D.Scarlatti ： ソナタ イ長調　K.113 / L.345 ・J.Haydn： ソナタ　ト長調　Hob.XVI : 27 ・J.Haydn ： ソナタ　ホ短調　Hob.XVI : 34 ・W.A.Mozart ： ソナタ　ト長調　KV283 ・W.A.Mozart ： ソナタ　ヘ長調　KV332
		後期	次の作曲家の作品から任意の１曲を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 （組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。） J.S.Bach，J.Haydn，W.A.Mozart，L.v.Beethoven，F.Schubert，F.Mendelssohn
Ⅱ	声楽	前期 後期	Ⅰと同じ。
	ピアノ	前期	Ⅰ（前期）と同じ。
		後期	Ⅰ（後期）と同じ。
	管弦打楽器	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム， テューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ	
		前期 後期	上記の楽器から１つを選択（出願時に申告）し，自由曲を１曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。

(6-2) 音楽実技の内容（Ｂ類音楽コース対象）

① 希望する専門分野に応じて，下表のⅠ～Ⅴから１つを選択すること（出願時に登録)。
（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）
② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例　Ⅰ選択者…声楽，ピアノが必須)。
③ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
④ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	課題
Ⅰ	声楽	1) 声楽課題曲７曲〔別表１〕のなかから３曲を選び，試験場で監督者から指定された１曲を，原語かつ暗譜で歌う。 2) 声楽課題曲７曲〔別表１〕以外の自由曲１曲を，原語かつ暗譜で歌う（調は自由)。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に２部提出すること。なお，楽譜は１ページＡ４の大きさとし，テープなどで製本しないこと。
	ピアノ	J.S.Bach：６つの小プレリュードBWV933～938，又はインヴェンションとシンフォニアBWV772～801より任意の１曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
Ⅱ	ピアノ	L.v.Beethoven：ピアノソナタ第１番～第18番より任意の１曲を選び，第１楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	声楽	声楽課題曲７曲〔別表１〕のなかから２曲を選び，試験場で監督者から指定された１曲を，原語かつ暗譜で歌う。
Ⅲ	管弦打楽器	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ
		上記の楽器から１つを選択（出願時に申告）し，自由曲を１曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅳ	作曲	1) 与えられた低音旋律及び高音旋律に４声体和声を作る（転調，転位音を含む)。試験時間は90分。 2) 自作品（自筆又はコンピュータによる浄書，コピー可）を出願時に提出すること。形式，演奏形態及び曲数は自由（提出作品についての面接試問を含む)。提出楽譜は返還しない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅴ	音楽学	1) 小論文（120分） 2) 面接（口頭試問を含む）
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。

〔別表１〕Ｂ類の声楽課題曲

① F.Gasparini	: Lasciar d'amarti	（ト短調，ヘ短調，ニ短調）
② F.Gasparini	: Caro laccio	（ヘ長調，変ホ長調，変ニ長調）
③ G.Paisiello	: Nel cor più non mi sento	（ト長調，ヘ長調，変ホ長調）
④ L.v.Beethoven	: Ich liebe dich	（ト長調，ヘ長調，変ホ長調）
⑤ F.Schubert	: An die Musik	（ニ長調，ハ長調）
⑥ 大中 寅二	: 椰子の実	（イ長調，ト長調）
⑦ 山田 耕筰	: かやの木山の	（ニ長調，ハ長調）

1）①～③は，イタリア歌曲集１（全音楽譜出版社），イタリア古典声楽曲集１（教育芸術社），古典イタリア歌曲集（カワイ出版）を使用すること。
2）⑥は，２番までを演奏すること。

９．出願書類の点数化

Ｅ類生涯スポーツコースの「書類」について

出願書類のうち「志願理由及び活動報告書」と，同コース専用様式の「競技成績等証明書」，「競技成績等資料（表紙）」及び「競技成績等資料」とし，これら全てを点数化します。

10．面接の形式

(1) 前期日程

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）		面接方法	面接時間(分)	備考
学校教育教員養成課程	Ａ類音楽コース		集団	5	時間は一人あたりの目安
	Ａ類美術コース		個人	５～10	
	Ａ類保健体育コース		個人	10	
	Ａ類英語コース		個人	５～10	英語によるものを含む
	Ａ類現代教育実践コース	学校心理ＰＧ	個人	10～15	口頭試問を含む
		国際教育ＰＧ	集団	15～20	
	Ａ類ものづくり技術コース		集団	10～30	口頭試問を含む
	Ａ類幼児教育コース		集団	20～30	幼児教育課題を含む
	Ｂ類音楽コース		個人	5	
	Ｂ類美術コース		個人	10～15	
	Ｂ類保健体育コース		個人	10	
	Ｂ類技術コース		集団	10～30	口頭試問を含む
	Ｂ類英語コース		個人	５～10	英語によるものを含む
	Ｂ類情報コース		集団	10	口頭試問を含む
	Ｃ類		個人	10	
	Ｄ類養護教育コース		個人	10～15	
教育支援課程	Ｅ類カウンセリングコース		個人	10～15	
	Ｅ類情報教育コース		集団	10	口頭試問を含む
	Ｅ類生涯スポーツコース		個人	10	

(2) 後期日程

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）	面接方法	面接時間(分)	備考
学校教育教員養成課程	Ａ類国語コース	集団	20～30	口頭試問を含む
	Ａ類社会コース	個人	10	
	Ａ類数学コース	個人	10	口頭試問を含む
	Ａ類理科コース	個人	５～10	口頭試問を含む
	Ａ類音楽コース	集団	5	時間は一人あたりの目安
	Ａ類現代教育実践コース（学校教育ＰＧ）	個人	10～15	口頭試問を含む
	Ｂ類社会コース	個人	10	
	Ｂ類数学コース	個人	10	口頭試問を含む
	Ｂ類理科コース	個人	５～10	口頭試問を含む
教育支援課程	Ｅ類生涯学習・文化遺産教育コース	個人	10	
	Ｅ類多文化共生教育コース	個人	10	
	Ｅ類情報教育コース	個人	５～10	口頭試問を含む

(3) 留意事項

（注１）面接は複数の面接者により行う。
（注２）志願者数によって面接方法及び面接時間を変更することがある。
（注３）終了予定時刻は志願者数及び当日の進行状況によるため，事前の問い合わせには回答できない。予め余裕をもったスケジュールとしておくこと。

11. 配点一覧表

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）	日程	大学入学共通テスト（教科名下の数値は大学入試センターが示す配点）（注１，注２）									東京学芸大学入学試験（注４）					
			国語	地理歴史 公民	数学 ＩＡ	数学 ⅡＢＣ	理科	外国語 （注３）	情報	計	傾斜 配点 教科	個別ﾃｽﾄ等	小論文	実技 検査	面接	計	摘要
			200	各科目 100	100	100	各科目 100	200	100								
学校教育教員養成課程	Ａ類国語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	400	50	―	―	450	
		後期	400	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,200	国語	―	―	―	450	450	
	Ａ類社会	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	300	30	―	―	330	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	300	300	
	Ａ類数学	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	450	50	―	―	500	
		後期	200	100	300	300	200	200	100	1,400	数学	―	―	―	350	350	
	Ａ類理科	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	*400	40	―	―	440	理科は各科目 200
		後期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	―	―	―	400	400	
	Ａ類音楽	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	―	―	*400	40	440	実技は音楽実技 250，共通試験 150
		後期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	―	―	260	40	300	
	Ａ類美術	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	―	―	350	35	385	
	Ａ類保健体育	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	―	―	200	200	400	
	Ａ類家庭	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	300	―	―	300	
	Ａ類英語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	450	―	―	50	500	
	Ａ類現代教育実践 学校教育ＰＧ	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	300	―	―	300	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	300	300	
	Ａ類現代教育実践 学校心理ＰＧ	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	350	350	
	Ａ類現代教育実践 国際教育ＰＧ	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	450	450	
	Ａ類現代教育実践 環境教育ＰＧ	前期	200	100	100	100	100	200	100	900	―	*400	30	―	―	430	理科の場合は各科目 200
	Ａ類ものづくり技術	前期	200	100	150	150	200	200	150	1,150	数学 情報	―	―	―	400	400	
	Ａ類幼児教育	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	500	500	面接（幼児教育課題を含む）500
	Ｂ類国語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	1,200	100	―	―	1,300	
	Ｂ類社会	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	300	30	―	―	330	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	300	300	
	Ｂ類数学	前期	200	100	200	200	200	200	100	1,200	数学	1,000	100	―	―	1,100	
		後期	200	100	300	300	200	200	100	1,400	数学	―	―	―	350	350	
	Ｂ類理科	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	*1,000	100	―	―	1,100	理科は各科目 500
		後期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	―	―	―	400	400	
	Ｂ類音楽	前期	300	(100) (100)	(100)	―	(100)	300	100	1,000	国語 外国語	―	―	*1,000	100	1,100	実技は音楽実技 700，共通試験 300

課程	類・コース（ＰＧ：プログラム）	日程	大学入学共通テスト（教科名下の数値は大学入試センターが示す配点）（注１，注２）									東京学芸大学入学試験（注４）					
			国語	地理歴史 公民	数学 ＩＡ	数学 ⅡＢＣ	理科	外国語 （注３）	情報	計	傾斜 配点 教科	個別ﾃｽﾄ等	小論文	実技 検査	面接	計	摘要
			200	各科目 100	100	100	各科目 100	200	100								
学校教育教員養成課程	Ｂ類美術	前期	200	(100)　(100)	(100)	―	(100)	200	100	800	―	―	―	500	200	700	
	Ｂ類保健体育	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	―	―	200	200	400	
	Ｂ類家庭	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	300	―	―	300	
	Ｂ類技術	前期	200	100	150	150	200	200	150	1,150	数学 情報	―	―	―	400	400	
	Ｂ類英語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	300	100	1,100	外国語	500	―	―	50	550	
	Ｂ類書道	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	400	200	600	―	1,200	
	Ｂ類情報	前期	200	100	100	100	200	200	200	1,100	情報	400	―	―	50	450	
	Ｃ類	前期	200	100	100	100	100	200	100	900	―	―	150	―	150	300	
	Ｄ類養護教育	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	―	―	300	―	100	400	
教育支援課程	Ｅ類生涯学習 ・文化遺産教育	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	500	―	―	500	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	300	300	
	Ｅ類カウンセリング	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	―	―	400	400	
	Ｅ類ソーシャルワーク	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	―	―	500	―	―	500	
	Ｅ類多文化共生教育	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	300	100	1,100	外国語	―	500	―	―	500	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	300	100	1,100	外国語	―	―	―	500	500	
	Ｅ類情報教育	前期	200	100	100	100	200	200	200	1,100	情報	500	―	―	50	550	
		後期	200	100	200	200	200	200	200	1,300	数学 情報	―	―	―	300	300	
	Ｅ類表現教育	前期	300	(100-200)	100	100	(100-200)	500	100	1,400	国語 外国語	―	1,400	―	―	1,400	
	Ｅ類生涯スポーツ	前期	200	100	100	―	100	200	100	800	―	300	―	―	300	600	個別テスト等（書類）300

（注１）括弧付きの配点は選択教科・科目を示す。「(100-200)」については，１科目選択の場合は 100，２科目選択の場合は 200 とする。

（注２）地理歴史・公民⇒「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共（出題範囲から２つを選択解答)」
「公共，倫理」「公共，政治・経済」
理科⇒「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（出題範囲から２つを選択解答)」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」

（注３）外国語において「英語」を受験した場合，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計を，配点比率１対１のまま本表の配点に換算する。ただし，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除されている者については，リーディングの得点を本表の配点に換算する。

（注４）＊を付した配点は複数科目の合計配点を示し，その内訳を摘要欄に記載している。

Ⅶ. 受験についての諸注意（両日程共通）

１．一般的な注意事項

(1)　試験開始時刻の 20 分前までに試験室に入室してください。ただし，実技試験を受ける者及び面接を受ける者は，試験開始時刻の 30 分前までに集合すること。
　試験開始時刻から 30 分経過後に試験室又は実技・面接集合場所に到着した場合は，受験を認めません。

(2)　各自の試験室及び実技・面接集合場所は，下に示す日時から当該試験終了まで，「学部入試情報サイト」への掲載及び入試掲示板（45 ページ参照）への掲示により公表するので確認してください。また，大学構内を下見することは可能ですが，試験室等への立ち入りを禁じます。
　なお，上記の対応に変更がある場合は公表日前日までに「学部入試情報サイト」で周知します。
　【前期日程 … ２月 24 日（水）午前 10 時から／後期日程 … ３月 11 日（木）午前 10 時から】

(3)　**「大学入学共通テスト受験票」**及び**「東京学芸大学入学試験の受験票」**を必ず持参し，試験の際，監督者に明示してください（実技試験及び面接の場合も同じ）。また，試験場に入構する際にも必要となります（一時的に試験場外に出て再入構する場合も同じ）。
　なお，「東京学芸大学入学試験の受験票」は入学手続等の際に必要です。また「大学入学共通テスト受験票」についても提出が必要となる場合があります。そのため，試験後も汚破損・紛失等に注意してください。

(4)　スマートフォン等の電子機器・通信機器・音の出る機器は，試験室（実技試験又は面接の試験会場及びその待機場所を含む）に入る前にアラーム設定を解除し，必ず電源を切ってください。また，こうした機器は身につけず，かばん等にしまってください。

(5)　試験時間中に机上に置けるものは受験票に加えて以下に限ります。ただし，「**３．不正行為について**」に示されている各種機器・補助具の機能を備えているもの，又はその機能の有無が判別しづらいものは不可とします。
　① 筆記用具（黒鉛筆・鉛筆キャップ・シャープペンシル）
　② 消しゴム
　③ 鉛筆削り（電動式，大型のもの，ナイフ類は不可。）
　④ 時計（計時機能だけのもの。秒針音がするものや大型のものは不可。）
　⑤ 眼鏡・目薬・ハンカチ・ティッシュペーパー（箱又は袋から中身だけ取り出したもの）

(6)　試験時間中（実技試験又は面接の待機時間を含む）の退室は認めません。ただし，トイレや体調を崩すなどやむを得ない事情が発生した場合は，静かに手を挙げて，監督者の指示に従ってください。

(7)　実技試験を受験する者は，「Ⅵ．入学者選抜」の「８．実技試験等の内容」で指示された道具等を準備のうえ，必ず持参してください。

２．その他の諸注意

(1)　試験当日に最寄りの駅から大学周辺にかけて，物品の販売や勧誘活動等をしていることがあります（本学の関係団体であることを装う例もあります）。**それらの行為は東京学芸大学とは全く関係ありません。**これらに応じたことによりトラブルに巻き込まれても本学は一切責任を負わないので，十分注意してください。

(2)　試験当日は，試験場内の安全確保のため自動車・自転車等での入構はできません。また，静穏で公平な試験実施のため受験者本人以外（保護者・付添人等）の入構を禁じます。
　※ 受験上の配慮により自動車での入構，付添人の入構を認められた場合を除きます。

(3)　試験実施日は食堂等の営業をしないので，必要に応じて軽食等を持参してかまいません。ただし，ごみは各自で持ち帰ること。

(4)　本学では受験時の宿泊施設の紹介等は行っていないので各自で手配してください。
　なお，東京学芸大学生活協同組合では宿泊案内を行っています。
　➔《https://www.univcoop.jp/gakugei/》又は「東京学芸大学生協」で検索

３．不正行為について

《不正行為を行った（不正行為と認定された）場合の取り扱い》
✓ その場で受験の中止と退室を命じ，それ以後の受験を認めません。
✓ 受験したすべての教科・科目等の成績を無効とします（検定料の返還はしません）。また，入学許可の後でもこれを取り消します。
✓ 不正行為の状況や態様により警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

(1) **次のことをすると直ちに不正行為となります。**

① 出願に際し故意に虚偽の申告をすること。また，解答用紙に故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入する等）をすること。
② カンニングをすること。カンニングの手助けをすること。
③ 志願者本人以外の者が志願者になりすまして受験すること。
④ 配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 「解答はじめ」の指示及び「解答やめ」の指示に従わないこと。
⑦ 試験時間中（実技試験又は面接の待機時間を含む）に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー，電卓等の電子機器・通信機器（これらに該当するかどうか判別しづらいものを含む）を使用すること又は身につけることもしくは机上に置くこと。（注）
⑧ 試験時間中に，定規，コンパス，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること（あらかじめ許可されている場合を除く）。（注）

（注）障がい等により補聴器等を使用する場合は「受験上の配慮を要する志願者の事前相談」が必要です。

(2) 先に示した(1)以外にも，**次のことをすると不正行為と認定されることがあります。**

① (1)⑧で示すような補助具をかばん等にしまわず，試験時間中に身につけること又は机上に置くこと。
② 試験時間中に，携帯電話や時計の音（着信音やアラーム，振動音等）を長時間鳴動させ，試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することで，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において監督者・試験関係職員の指示に従わないこと。その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(3) 試験時間中のタオル・ひざかけ・手袋の使用については，事前の申請は不要です（ただし，大きさやデザイン等が試験実施上の支障とならないものに限る）。試験当日に監督者に申告してください。ただし，不正行為防止のため，一時的に取り外させる，折りたたんであるものを広げさせる等の指示をする場合があります。

Ⅷ．試験実施後について（両日程共通）

１．合格者の発表

(1)　日　　時 …… 前期日程：令和９年３月６日（土）10 時
後期日程：令和９年３月 20 日（土）14 時

(2)　発表方法 ……「学部入試情報サイト」への掲載
発表日を含む５日間に限り合格者受験番号一覧を掲載します。また，発表日当日に合格者に対し合格通知書を発送するので，必ず確認すること。
なお，上記の対応に変更がある場合は２月末日までに「学部入試情報サイト」で周知します。

(3)　合格通知書及び入学手続関係書類の送付は，出願時に登録された日本国内の住所宛てに行います。

(4)　電話や電子メール等による個別の問い合わせ（合否照会等）には応じません。

２．入学手続

所定の諸経費を納入し，原則として郵送手続期日までに郵送（**書留速達郵便**）により必要書類を提出してください。また，郵送手続ができない場合に限り，来学手続期日に直接持参することを認めます。
なお，**指定の期日・時間までに入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。**

(1)　手続期日 …… 下表①又は②により手続を行ってください。

手続方法	前期日程	後期日程
① 郵送による手続	令和９年３月 14 日（日）必着 ※消印有効ではありません。	令和９年３月 26 日（金）必着 ※消印有効ではありません。
② 来学による手続	令和９年３月 15 日（月）当日のみ	令和９年３月 27 日（土）当日のみ
	（ア）受付時間 …… ９時 00 分～12 時 00 分（**時間厳守**） ※受付時間以外は入学手続ができません。 （イ）場　　所 …… 東京学芸大学（東京都小金井市貫井北町４－１－１）	

(2)　必要書類 …… 必要となる書類・手続等の詳細については合格通知書に同封する書類で指示しますが，下記のことについては特に留意してください。

必要となる書類・手続等	留意事項
入学料	**入学手続期間は金融機関の休業日を含むので，十分注意してください。**
大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」	**大学入学共通テスト受験案内等を参考に登録・発行してください。** 成績請求情報を提供した国公立大学のうち，一つの大学しか登録・発行できません。
東京学芸大学受験票	紛失等に注意してください。
誓約書（本学所定の用紙）	連帯保証人の自署が必要です。
高等学校等の卒業証明書	卒業見込み者の提出方法は，合格通知書に同封する書類で指示します。

(3)　諸経費　　① 入学料 …… 282,000 円
② 授業料（春学期分） …… 267,900 円
（年　　額） …… 535,800 円

(4)　入学手続についての留意事項

①　入学料及び授業料は，改定することがあります。

②　本学に入学手続を完了した者は，これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続をすることはできません。また同様に，他の国公立大学・学部に入学手続を完了した者は，これを取り消して本学の入学手続をすることはできません。

③　前期日程で合格し入学手続を完了した者は，後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

④　いったん納入された入学料は返還しません。ただし，授業料については，入学手続を行った者が令和９年３月 31 日までに入学を辞退した場合に限り，納入した者の申し出により当該授業料相当額を返還します。

⑤　春学期分の授業料を上記の入学手続期日までに納入しないときは，令和９年４月１日から同年４月 30 日までの間に納入しなければなりません。

⑥　授業料の納入については，希望により，春学期分の納入の際に秋学期分もあわせて納入することができます。

⑦　授業料改定が行われた場合には，改定時から新たな授業料が適用されます。

３．追加合格

(1)　後期日程の入学手続を完了しても入学定員に欠員が生じた場合は，「追加合格」による欠員補充を行います。追加合格の実施及び対象となる類・コース等については，３月 27 日（土）17 時頃（予定）から本学ウェブサイトにて公表します。

(2)　追加合格発表（追加合格となる受験番号の公表）は行いません。**追加合格候補者には，出願時に登録された連絡先に対し３月 28 日（日）から電話連絡をします。**

(3)　追加合格連絡の際，入学意思の確認は本人に直接行うので，本人が不在でも直ちに連絡が取れるように備えてください。本学からの発信は「042-329」から始まる電話番号にて行いますので，着信にご注意ください。不在等により一定時間を経過しても**本人に直接連絡及び意思確認が取れない場合は，追加合格候補者としての資格を失う**ものとします。その後，順次次点候補者に連絡を行い，入学定員に達した時点で追加合格を終了します。

(4)　上記(1)～(3)について，自身が追加合格候補者であるか（候補順位を含む）等，**実施についての事前の問い合わせには一切応じません。**

(5)　追加合格者の入学手続日【３月 30 日（火）午前の予定】は，電話連絡の際に直接指示します。必要書類・納入金等については「**２．入学手続**」を参照すること。

なお，追加合格者が指示された入学手続日に入学手続を完了しない場合は，追加合格による入学を辞退したものとして取り扱います。

(6)　本学から追加合格候補者であると連絡を受けた者であっても，すでに他の国公立大学・学部（独自日程で試験を実施する公立大学・学部を除く）に入学手続を完了した者は，これを取り消して本学へ追加合格による入学手続を行うことはできないので注意してください。

(7)　やむを得ない事情により出願時に登録した電話番号を変更する必要がある場合は，３月 27 日正午までに入試課学部入試係（042-329-7204）に連絡のうえ，指示を受けてください。

４．欠員補充第２次募集

追加合格の実施によっても入学定員に不足が生じた場合，欠員補充のための第２次募集を実施することがあります。欠員補充第２次募集を実施する場合は，「学部入試情報サイト」等に掲載します。

Ⅸ．入学試験情報の開示等

１．基準点

大学入学共通テストの各科目得点及び合計得点と，東京学芸大学入学試験の各科目得点のうち，いずれか１つでも本学の定めた基準点に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用しています。なお，基準点については，令和９年５月頃に「学部入試情報サイト」内の「入試結果情報」で公表します。

２．入学試験の成績及び調査書の開示

令和９年度一般選抜の不合格者に対して，本人の請求（郵送のみ）に基づき，次の要領で入学試験の成績及び調査書を開示します。なお，本学の両日程を受験した者のうち，前期日程の不合格者で後期日程に合格した者は対象外です。

(1) 開示する内容及び開示方法等

	入学試験成績	調査書
開示内容	大学入学共通テスト及び東京学芸大学入学試験の各教科・科目等の成績，合計得点	「指導上参考となる諸事項」，「総合的な探究の時間の記録」及び「備考」欄を除く記載内容
開示方法	簡易書留郵便による書面（成績表）交付	受験者本人による閲覧（入試課窓口）
開示期間	請求書を受理してから概ね１週間以降 （事務処理のため日数を要することがあります）	同左 閲覧期限は成績表交付時に指示します

(2) 開示請求方法

① 請求受付期間 …… 令和９年５月６日（木）～同年５月 31 日（月）〔最終日の発信局消印有効〕

② 必要書類
(a)「東京学芸大学入試情報開示請求書」（本学所定様式）※必ず令和９年度の様式を使用すること
（「学部入試情報サイト」《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/kekka.html》に掲載します）
(b) 東京学芸大学受験票（本人確認のため）
(c) 返信用封筒（長形３号封筒に本人の宛先を明記し，460 円分の郵便切手を貼付すること）

③ 請求先 …… 東京学芸大学入試課学部入試係（②を一括して**簡易書留郵便**により送付すること）

３．東京学芸大学入学試験の過去問題及び正解・解答例

直近３年度に実施された東京学芸大学入学試験の問題及び正解・解答例は，外部サイト「サイバーカレッジ（大学過去問題専門サイト）《http://www.cybercollege.jp/u-gakugei/index.php》」から閲覧・ダウンロードができます。最新年度のものは８月頃から公開されます。

４．「入試過去問題活用宣言」への参加について

(1)　本学のアドミッション・ポリシーを実現するため，必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります（必ず使用するとは限りません）。

(2)　入試過去問題を使用する際は，そのまま使用することも，一部改変することもあります。また，使用した過去問題については，入試終了後（４月以降）に「学部入試情報サイト」で公表します。

(3)　入試過去問題活用宣言についての詳細及び参加大学の一覧については，公式ウェブサイトを確認してください。《https://www.nyushikakomon.jp》

Ⅹ．学生生活等

電話による問い合わせ受付時間は平日９時から 17 時（12 時から 13 時を除く）です。

１．ノート型パソコン必携のお願い

現在，世界中で情報通信技術に関する知識は欠かせないものになっています。情報通信技術を活用できることが社会的要請となり，活用できる者と活用できない者との間には格差が生じています。本学は，「各学生はノート型パソコンを文房具のように携帯し，様々な学生生活の場面で積極的に使用することによって，情報通信技術活用のスキルを身に付けることが可能になる」と考えています。

本学では授業科目「ＡＩ時代の情報」を全専攻で１年次の必修科目としており，各学生がノート型パソコンを持参することになっています。他の授業科目においても，ｅラーニングの活用や，レポート・課題の作成及び提出，卒業論文の作成に至るまで，学生はノート型パソコンを使用しています。

また，本学ではシラバス参照，履修登録，成績通知，教育実習の手続，キャリア支援に関する事項等，様々な手続にパソコンを使用する必要があります。

「具体的にどのような仕様のノート型パソコンを所有すればよいのか」ということについては，各合格者に別途お知らせいたします。本学で定める仕様を満たしていれば，既に所有しているノート型パソコンを本学で使用することも可能です。

なお，経済的に特別な事情がある場合は，**入学手続の前まで**にご相談ください。

〔本件担当：学務課教務第一係（042-329-7194)〕

２．入学料及び授業料免除制度

経済的理由により入学料又は授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者には，申請により選考のうえ，納付すべき入学料又は授業料が全額もしくは一部免除される制度があります。

手続き等の詳細は，東京学芸大学のウェブサイト（下記ＵＲＬ）又は合格発表後の入学手続案内に同封する「入学料及び授業料免除・徴収猶予制度について」をご覧ください。

※日本人・日本永住者の場合は，日本学生支援機構の給付奨学金に申し込む方のみが入学料・授業料免除制度に申請できます。必ずお申し込みください。

※令和７年度より，**多子世帯の学生は，所得制限なく入学料・授業料が免除されます。免除を受けるためには，日本学生支援機構の給付奨学金への申請が必要です。入学後の申請では審査に時間を要するため，入学前に高校等を通して予約採用に申請されることを強くお勧めいたします。**

東京学芸大学ウェブサイト　学生生活・キャリア支援＞入学料・授業料の免除・徴収猶予制度
《https://www.u-gakugei.ac.jp/tuition-exemption/》

〔本件担当：学生課学生支援係（042-329-7186)〕

３．奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

① 学業成績が優れ，経済的理由により修学困難な学生に対し，願い出により選考のうえ貸与・給付されます。（給付奨学金は，高校卒業後，おおむね２年以内に申請する必要があります。）

② **大学入学よりも前に，予約採用制度を利用して採用候補者となっておくことを強くお勧めいたします。**
実施期間は高校によって異なりますので，高校卒業見込の方や卒業後２年以内の方は在籍（卒業）高校へ，それ以外の方は日本学生支援機構へ確認してください。
入学後に申請することもできますが（⑦を参照），奨学金の初回振込が７月になります（予約採用の場合は４月又は５月）。

③　奨学金の種類，貸与・給付額等は下表のとおりです。

（令和８年度）

奨学金の種類	貸与・給付月額等	備考
貸与 （第一種）	自　宅：20,000 円，30,000 円，45,000 円 から選択 自宅外：20,000 円，30,000 円，40,000 円，45,000 円， 51,000 円から選択	無利子
貸与 （第二種）	20,000 円から 120,000 円のうち 10,000 円単位で選択	有利子 （利率固定方式又は利率見直し方式を選択する。在学中は無利子）
入学時特別 増額貸与	100,000 円，200,000 円，300,000 円，400,000 円， 500,000 円 から選択（入学時のみ）	有利子 （原則として基本月額に係る利率に 0.2%上乗せした利率。在学中は無利子）
給付	採用区分，通学形態により異なる	原則返還不要（ただし，成績不振や停学等により廃止となった場合は，支給済み金額の全額または一部の返還が必要）

④　詳細は日本学生支援機構ウェブサイトをご確認ください。
《https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/index.html》

⑤　日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者が入学料又は授業料免除申請をすると，入学料又は授業料が全額もしくは一部免除となりますので，必ず申請をしてください。授業料免除制度については，「**２．入学料及び授業料免除制度**」をご確認ください。

⑥　入学時特別増額貸与奨学金の申込資格は，奨学金申請時の家計基準における貸与額算定基準額が 75,000 円以下となる人，又は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んだ結果，融資を受けることができず，進学届の提出や在学採用の申込みにおいて，以下のいずれかの日付情報を入力し，申告できる人になります。

・保護者等が受領した「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」の日付
・保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを日本政策金融公庫へ確認した日付

⑦　高校在学中に令和９年度の予約採用候補者になっておらず，本学入学後，新規に日本学生支援機構奨学金を申請する場合には，「卒業」の記載がある『調査書』が必要になります（「卒業見込」の記載がある調査書は不可）。

⑧　すでに他の大学で日本学生支援機構の奨学金を借りたことのある人は，申し込むことができない場合があります。

(2) 東京学芸大学学生奨学金制度「学芸むさしの奨学金」

本学独自の奨学金制度（給付型）です。「学芸むさしの奨学金」の概要については，本学のウェブサイトで確認してください。

東京学芸大学ウェブサイト　学生生活・キャリア支援＞奨学金制度
《https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/》

(3) その他の奨学金

地方公共団体や，民間の財団法人等の奨学金があります。

〔本件担当：学生課学生支援係（042-329-7187）〕

4．海外留学

(1) 交換留学

本学では学生交流協定締結校に対して毎年 40 名前後の学生を派遣し，それぞれ優れた留学成果をあげています。本学と学生交流協定を締結している大学は次のとおりです。

（令和８年４月現在，17 ヵ国・地域 57 大学，大学名は一部略称で表記しています。）

① 中国 …… 北京師範大学／東北師範大学／蘇州大学／香港中文大学／華東師範大学／上海師範大学／華中師範大学／南京師範大学／湖南師範大学／北京外国語大学

② 韓国 …… 全南大学校／公州大学校／ソウル市立大学校／京畿大学校／ソウル教育大学校／忠南大学校／韓国教員大学校／京仁教育大学校／清州教育大学校／済州大学校／ソウル大学校師範大学

③ オーストラリア …… キャンベラ大学／西シドニー大学

④ アメリカ …… カーセジ大学／ボールステイト大学／ハワイ大学ヒロ校／ブリッジウォーター州立大学／セントラル・ワシントン大学

⑤ メキシコ …… チアパス州立芸術科学大学

⑥ フランス …… 国立東洋言語文化大学（イナルコ）／パリ・シテ大学／オルレアン大学／グルノーブルアルプ大学／トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学／ストラスブール大学

⑦ ドイツ …… トリア大学第Ⅱ学部／ハイデルベルク大学／ﾌﾘｰﾄﾞﾘｯﾋｱﾚｸｻﾝﾀﾞｰ大学　ｴｱﾗﾝｹﾞﾝﾆｭﾙﾝﾍﾞﾙｸ／ハンブルク大学人文学部／ミュンヘン音楽・演劇大学

⑧ イギリス …… ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）

⑨ スウェーデン …… ヨテボリ大学人文学部／ウメオ大学教養学部

⑩ タイ …… タマサート大学／シラパコーン大学／チェンマイ・ラーチャパット大学／コンケン大学

⑪ 台湾 …… 台湾大学／台湾師範大学／台中教育大学

⑫ タンザニア …… ダルエスサラーム大学教育学部（派遣停止中）

⑬ フィリピン …… フィリピン教育大学

⑭ ポーランド …… ヤギェウォ大学国際政治学部

⑮ ベトナム …… ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学／ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学

⑯ インドネシア …… インドネシア教育大学

⑰ エジプト …… アスワン大学（派遣停止中）

(2) 短期語学・文化研修プログラム

海外の協定校等で，春・夏の長期休暇中に実施しています。

5．福利厚生

(1) 保険制度

教育研究活動中（正課中・学校行事中・学校施設内外での課外活動中・通学中等）において不慮の事故等によって被った災害に対する補償制度として，（公財）日本国際教育支援協会が取り扱う「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」を導入しています。

(2) 福利厚生施設　東京学芸大学生活協同組合

「第１むさしのホール」と「第２むさしのホール」があり，主として次の内容を扱います。

① 食堂の営業
② 食品，文房具，日用雑貨，書籍等の販売
③ 旅行，自動車学校の紹介，アルバイトの紹介等
④ 学生総合共済，学生賠償責任保険，就学費用保障保険
⑤ 大学周辺の下宿・アパートの紹介

※ 詳しくはウェブサイト（「学芸大生協」で検索）をご覧ください。

６．保健管理センター及び学生相談室

(1)　保健管理センターは気軽に利用できる健康支援の機関です。
　保健管理センターには，医師，カウンセラー，看護師がおり，カウンセリング，精神神経科診療，内科診療，一般健康相談，応急処置，健康診断，健康教育などの各種サービスを提供しています。
　詳しくは保健管理センターのウェブサイトをご覧ください。

(2)　学生相談室では，学生生活上の諸課題に対する心理的なサポートに関して専門的なスタッフ（カウンセラー）が親身になって相談に応じています。

７．学生寮

　本学は，経済的な困難を抱える学生の生活と勉学を支援することを主な目的として学生寮を設置しています。各寮の運営は，寮生同士が協力しあって自主的に行っています。
　応募等の詳細は，本学ウェブサイト（トップページ＞学生生活・キャリア支援＞学生寮・アパート）で公開しますのでご覧ください。

〔本件担当：学生課課外教育係（042-329-7188)〕

８．課外活動

　大学では，専門の学芸を深く学ぶとともに円満な人格を形成することも大きな目的で，そのために課外活動（学生の自主的，かつ，独創的な学問研究・スポーツ・文化活動等）が大きな役割を果たしています。
　本学には，文化系，スポーツ系あわせて約 130 の課外活動団体が設立されています（令和８年５月現在)。
　文化系では，教養，学術，教育，音楽，演劇，映画，美術，伝統文化等，多彩な広がりを誇り，地域社会との長い交流の歴史をもつ団体もあります。
　スポーツ系では，陸上，水泳，サッカー，ラグビー，テニス，野球，武道，舞踊，登山等，広範な種目に及び，競技，レクリエーション，健康等，それぞれの目的に応じて熱心に活動しています。一部の団体は全国レベルの大会で上位入賞を果たしています。

９．教育実習及び介護等体験

教員免許状の取得にあたっては，関係授業科目の単位を修得するほか，教育実習に参加する必要があります。また，小学校又は中学校の教員免許状の取得を希望する者は介護等体験が義務付けられています。

(1) 教育実習

① 事前・事後の指導（必修）
② 本学附属学校・園での教育実習（必修）
③ 本学附属学校・園，協力学校・園での教育実習（選択）

(2) 介護等体験

① 小学校又は中学校の教員免許状取得のために必要です。
② 体験期間は，７日間（原則として特別支援学校２日間，社会福祉施設５日間）です。
③ 社会福祉施設における受入経費として，概ね 12,100 円を学生個人が負担することになります。

本件担当：(1)学務課教育実習係（042-329-7179）
(2)学務課教務第四係（042-329-7192）

10．キャリア支援・就職

(1) 学生キャリア支援室

各種就職プログラムの企画，実施とインターンシップ，進路相談など，将来設計ができるよう，日常的なサポートを行っています。

(2) 就職相談

本学卒業生で公立学校長経験者の「教員就職相談員」及びプロフェッショナル・キャリア・カウンセラー®や企業の人事担当経験者の「企業・公務員就職相談員」等に，学年に関係なく，相談することができます。

(3) 主なキャリア支援行事

教員 …… 教師力養成特別講座／直前対策講座／教育委員会担当者による教員採用試験説明会／１次試験対策学内模擬試験／教員採用試験対策ＷＥＢ講座／春の論文作成講座
企業・公務員 …… 企業・公務員就職対策講座／公務員就職説明会／面接特別練習会

11．東京学芸大学の所在地及びアクセス

所在地　東京都小金井市貫井北町４－１－１

○ＪＲ中央線「武蔵小金井駅」下車（北口）
・京王バス「小平団地」行き又は「国分寺駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車
・徒歩約 25 分
○ＪＲ中央線・西武国分寺線・西武多摩湖線「国分寺駅」下車（北口）
・京王バス「武蔵小金井駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車
・徒歩約 20 分

詳しくは本学ウェブサイト《https://www.u-gakugei.ac.jp/access/》をご覧ください。

※ 試験当日は正門から入構してください。

○キャンパスマップは次ページに掲載しています。

小金井キャンパスマップ
Koganei Campus Map

※試験当日は飲食施設の営業を行いません



試験当日は正門から
入構してください。

入試掲示板（入学試験に関する諸事項を掲示）

飲食施設 Eating places
屋外トイレ Outside toilets
多機能トイレ Accessible toilets
AED設置場所 AED locations
避難場所 Evacuation areas

西地区 West Block
- W1 西1号館 West Building 1
- W2 西2号館 West Building 2
- W3 西3号館 West Building 3
- W4 西4号館（西講義棟） West Building 4
- W4 110 西4号館（西講義棟 110） West Building 4 (110)
- W5 西5号館 West Building 5
- W6 西6号館 West Building 6
- W7 西7号館 West Building 7
- 101 小金井クラブ Koganei Club
- 102 芸術館（学芸の森ホール） Arts Hall (Gakugeinomori Hall)
- 103 音楽ホール Music Hall
- 104 放射性同位元素総合実験施設 Radioisotope Laboratory
- 105 実習室1 Practical Training Room 1
- 106 実習室2 Practical Training Room 2
- 107 実習室3 Practical Training Room 3
- 108 共通利用2号館 Common Use Building 2
- 109 温室 Greenhouse
- 111 農園 Farm

中地区 Central Block
- C1 中央1号館 Central Building 1
- C2 中央2号館（南講義棟） Central Building 2
- C3 中央3号館（中央講義棟） Central Building 3
- C4 中央4号館（北講義棟） Central Building 4
- C5 中央5号館 Central Building 5
- C6 中央6号館 Central Building 6
- C7 中央7号館 Central Building 7
- C8 中央8号館 Central Building 8
- C9 中央9号館 Central Building 9
- 201 弓道場 Archery Hall
- 202 20周年記念飯島同窓会館 Iijima 20th Anniversary Alumni Hall
- 203 正門守衛所 Main Gate Guard House
- 204 本部棟 Headquarters Building
- 205 図書館 Library
- 206 総合メディア教育館 Comprehensive Media Education Hall
- 207 保健管理センター Health Service Center
- 208 第1むさしのホール 1st Musashino Hall
- 209 第2むさしのホール 2nd Musashino hall
- 210 サークル棟 Club Building
- 211 北門テニスコート North-Gate Tennis Court
- 212 北門守衛所 North Gate Guard House

東地区 East Block
- E1 東1号館 East Building 1
- E2 東2号館 East Building 2
- E3 東3号館 East Building 3
- E4 東4号館 East Building 4
- E5 東5号館 East Building 5
- E6 東6号館 East Building 6
- E7 東7号館 East Building 7
- E8 東8号館 East Building 8
- 301 総合グラウンド Athletic Field
- 302 合宿所 Training Camp
- 303 卓球場 Table Tennis Hall
- 304 野球場 Baseball Ground
- 305 体育館 Gymnasium
- 306 屋外バスケットボールコート Outdoor Basketball Court
- 307 剣道場 Kendo Hall
- 308 舞踊場 Dancing Hall
- 309 柔道場 Judo Hall
- 310 若草研究室 Wakakusa Laboratory
- 311 プール Swimming Pool
- 312 ハンドボールコート Handball Court
- 313 プレイパーク Play Park
- 314 東門バレーボール・テニスコート East-Gate Volleyball / Tennis Court
- 315 学芸の森保育園・こどモード/ハウス Gakugeinomori Nursery / Kodomode House
- 316 附属幼稚園小金井園舎 Affiliated Koganei Kindergarten
- 317 附属小金井中学校 Affiliated Koganei Junior High School
- 318 附属小金井小学校 Affiliated Koganei Elementary School
- 319 国際交流会館 International House
- 320 コミュニティーセンター Community Center
- 321 東門守衛所 East Gate Guard House

東京学芸大学 Tokyo Gakugei University

学務部
Student Affairs Department

- C2 学務課（中央2号館 1F） Student Affairs Division
- C2 学生課・キャリア支援課（中央2号館 2F） Student Service Division, Career Support Division
- C2 国際課（中央2号館 3F） International Division
- 209 大学院課（第2むさしのホール 3F） Graduate School Division
- E7 大学院課（教職大学院）（東7号館） Graduate School Division (Graduate School of Teacher Education)
- 205 図書館（大学院アクティブラーニングセンター） Graduate School Active Learning Center

センター
Centers

- W2 先端教育人材育成推進機構 上廣道徳・倫理教育研究開発推進室 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources The Uehiro Research and Development Office for Moral Education
- W2 先端教育人材育成推進機構 次世代教育研究グループ（西2号館） Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Research of Next-Generation Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 教育実習グループ（東6号館） Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Teaching Practice
- C4 国際交流／留学生センター（中央4号館） International Student Exchange Center
- C5 ICT／情報基盤センター（中央5号館） Center for information and Communications Technology
- C6 学生相談室（中央6号館） Student Counseling Office
- C6 障がい学生支援室（中央6号館） Office for Students with Disabilities
- W7 環境教育研究センター（西7号館） Field Studies Institute for Environmental Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ（東6号館） Organization for Innovative Development of Educational Human Resources International Education Research Group
- E5 特別支援教育・教育臨床サポートセンター（東5号館） Support Center for Special Needs Education and Clinical Practice on Education
- C1 理科教員高度支援センター（中央1号館） Advanced Support Center for the Science Teachers
- 204 教育インキュベーションセンター（本部棟） Center for Open Innovation in Education
- C9 こどもの学び困難支援センター（中央9号館） Education Support & Research Center for All Children
- W4 W5 先端教育人材育成推進機構（西4号館）（西5号館） Organization for Innovative Development of Educational Human Resources

Ⅺ．出願書類（所定様式）の見本

インターネット出願サイトから検定料支払い後にダウンロードする様式（Ⅴ－２－(3)で★印を付しているもの）を例示します。本章で示す見本は作成時点での内容のため，細部に変更が生じる場合があります。

１．入学志願票（兼 出願内容確認票）

東京学芸大学教育学部入学者選抜試験

入 学 志 願 票
（兼 出願内容確認票）

（大学使用欄）

(1) 下記に表示されている内容に誤りがないかよく確認すること。

志願者情報	入試年度	令和９年度
	志願する選抜	一般選抜（前期日程）
	志願先	学校教育教員養成課程　初等教育専攻 理科コース
	備考	
	フリガナ	コマバ　タロウ
	志願者氏名	駒場　太郎
	生年月日・年齢	2008年10月1日生　18歳（2027年4月1日現在）
	性別	男
	郵便番号	１９３－００１３
	住所	東京都駒場市 駒場町５－００－０１　レジデンス学芸０１２
	電話番号	03-0000-9999
	出身学校	13006A　東京学芸大学附属
	卒業（見込）年月	2027年3月　卒業見込
	共通テスト情報	123456-7890Z-1
選択教科・科目又は実技等（該当するコースのみ）		①物理基礎 ②化学基礎・化学

第２志望を認めるコースの志願者は，第２志望の有無が表示されます。

（注）上記に表示の内容は，出願内容について志願者本人が確認するとともに，本学が簡易的に確認するために使用するものです。よって，上記に表示の内容を志願者が手書き等で修正しても，本学は出願内容の変更を行いません。

(2) Ａ・Ｂ類音楽コース志願者のうち下記に該当する者は，内容に誤りがないかよく確認してください。
・音楽実技で管弦打楽器を含む課題（Ａ類はⅡ，Ｂ類はⅢ）の選択者が選択した管弦打楽器名

該当者はよく確認すること。

(3) 下記の内容を改めて確認し，ボックス（□）に黒ボールペンでチェック（✔）を入れてください。
□ 本用紙はＡ４サイズ・カラー・片面印刷で，かつ全ての事項が鮮明に印刷されている。
□ (1)の内容に誤りはない。
□ (2)に管弦打楽器名が正しく印刷されている。（該当する者のみチェックを付すこと。）

以上，出願内容に誤りがないことを確認しました。（黒ボールペンで志願者氏名を自署すること。）

志願者氏名（自署）

（大学使用欄）
インターネット出願受付番号
999999999999

受付１	受付２
日付　担当	日付　担当

2．出願書類郵送用ラベル

速　達

書留速達

184－8501

東京都小金井市貫井北町４－１－１

東京学芸大学　入試課　御中

教育学部出願書類在中

志願する課程	学校教育教員養成課程
志願する専攻	初等教育専攻
志願するコース・プログラム	理科コース
選抜区分	一般選抜（前期日程）

志願者住所	193－0013 東京都駒場市 駒場町５－００－０１　レジデンス学芸０１２
志願者氏名	駒場 太郎

（以下大学使用欄）

受付1	月　日 担当：	受付2	月　日 担当：

インターネット出願受付番号（受験番号ではありません）
999999999999

999999999999

教育学部

個人情報の取扱いについて

個人情報については「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

１．出願にあたって知り得た氏名，住所その他の個人情報は，①入学者選抜（出願処理・選抜実施），②合格発表，③入学手続業務を行うために使用します。

２．入学者選抜に用いた試験成績等は，今後の入学者選抜方法の調査・研究，分析を行うために利用します。

３．上記１及び２の各種業務での利用にあたっては，一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。これにあたり，受託業者に対して，受託した業務を遂行するために必要となる限度で，知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

４．国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テスト受験番号に限り，合否及び入学手続等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

５．出願にあたって知り得た個人情報は，入学者のみ①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除，奨学金申請等），③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。